



大和市公共施設白書



目次

第1章 大和市公共施設白書について

1.1 白書策定の背景と目的	1
1.2 大和市公共施設等総合管理計画の概要	2
1.3 公共施設白書の対象	3
1.4 公共施設白書の構成	4

第2章 公共施設の全体状況

2.1 本市公共施設の概要	5
2.2 本市の耐震化状況	7
2.3 地区の概要	11
2.4 年代別の施設分布状況	14
2.5 地区別の施設規模の分布と施設数の推移	15

第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

3.1 管財課	19
3.2 生活あんしん課	20
3.3 産業活性課、健康福祉総務課、健康づくり推進課、 高齢福祉課、障がい福祉課	22
3.4 みどり公園課	23
3.5 ほいく課	25
3.6 こども・青少年課	26
3.7 文化振興課	27
3.8 図書・学び交流課	28
3.9 スポーツ課	29
3.10 街づくり総務課	31
3.11 警防課	33
3.12 教育総務課	35
3.13 保健給食課	39

第4章 公共施設白書の統括

4.1 劣化度評価結果の分析 1	40
4.2 劣化度評価結果の分析 2	42
4.3 分析結果からの課題	46

第1章 大和市公共施設白書について

第1章 大和市公共施設白書について

1.1 白書策定の背景と目的	1
1.2 大和市公共施設等総合管理計画の概要	2
1.3 公共施設白書の対象	3
1.4 公共施設白書の構成	4

第2章 公共施設の全体状況

2.1 本市公共施設の概要	5
2.2 本市の耐震化状況	7
2.3 地区の概要	11
2.4 年代別の施設分布状況	14
2.5 地区別の施設規模の分布と施設数の推移	15

第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

3.1 管財課	19
3.2 生活あんしん課	20
3.3 産業活性課、健康福祉総務課、健康づくり推進課、 高齢福祉課、障がい福祉課	22
3.4 みどり公園課	23
3.5 ほいく課	25
3.6 こども・青少年課	26
3.7 文化振興課	27
3.8 図書・学び交流課	28
3.9 スポーツ課	29
3.10 街づくり総務課	31
3.11 警防課	33
3.12 教育総務課	35
3.13 保健給食課	39

第4章 大和市公共施設白書の統括

4.1 劣化度評価結果の分析1	40
4.2 劣化度評価結果の分析2	42
4.3 分析結果からの課題	46

第1章 大和市公共施設白書について

1.1 白書策定の背景と目的

我が国では、高度経済成長期以降に整備されたインフラの老朽化が今後一斉に進み、更新の時期を迎えます。

このような現状を受けて国は、平成25年11月に、インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進していくための方向性を定めた「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、翌年4月には地方公共団体に対して「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

こうした国の動きを受け本市は、平成29年3月に公共建築物をはじめ、道路・河川・橋梁などの公共施設を対象とし、今後の人口の見通しや公共施設等の維持管理経費等の見込みを明らかにし、総合的・計画的な管理に関する基本方針を定めた「大和市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

本市では、公共建築物に関してこれまでも他市に先駆けて、平成13年度に「大和市公共施設保全計画」を策定し、適正な維持管理と計画的な修繕の実施に努めてきました。

しかしながら、今後の老朽化の進行や、少子高齢化・人口減少に伴う需要の変化などの新たな課題への対応と「大和市公共施設等総合管理計画」で掲げた方針を実行していくために、改めて公共建築物の劣化状況や維持管理の現状を把握し、長寿命化を軸とする中長期的な視点に立った保全を行うための新たな「大和市公共施設保全計画」の策定が必要となりました。

ここで上記計画の策定に際し、公共建築物の劣化状況や維持管理の現状を取りまとめ、基礎資料として活用するため「大和市公共施設白書」を策定することとなりました。

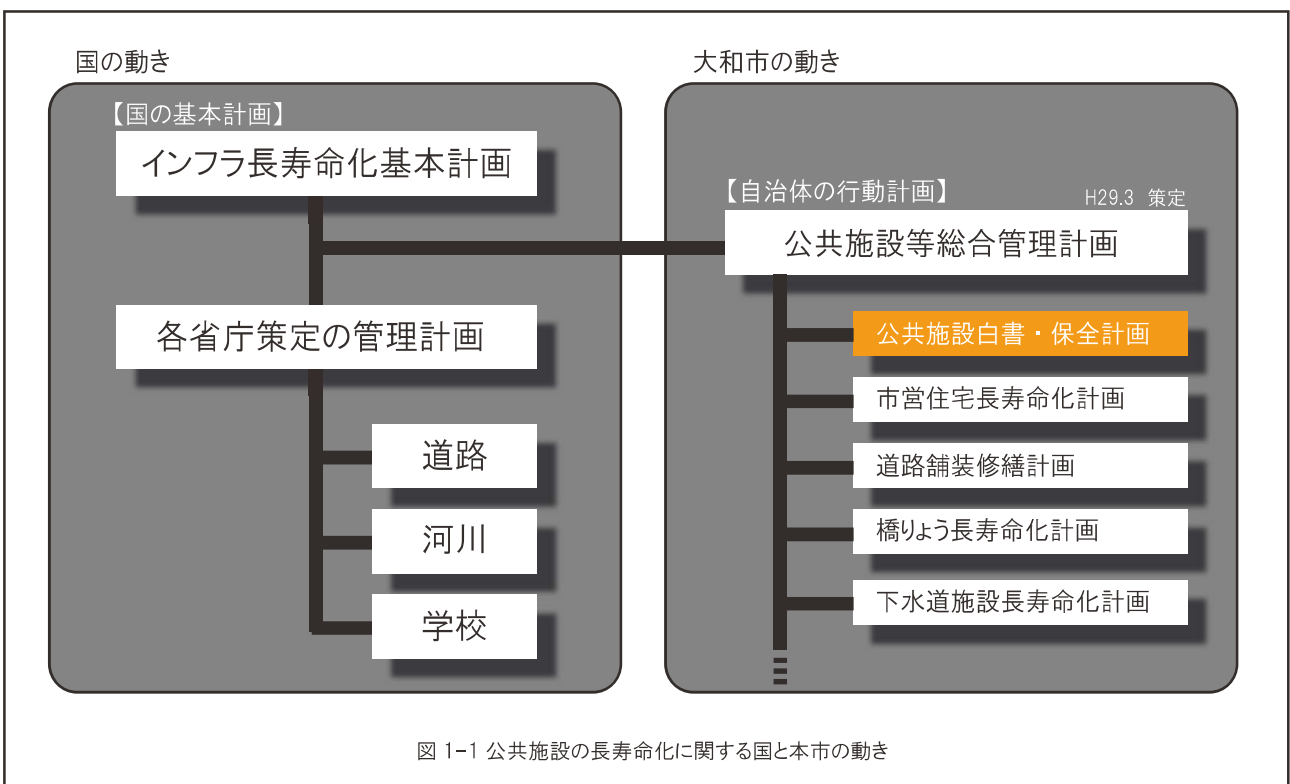


図 1-1 公共施設の長寿命化に関する国と本市の動き

1.2 大和市公共施設等総合管理計画の概要

平成29年3月に策定した「大和市公共施設等総合管理計画」の概要を下記にまとめています。

表 1-1 大和市公共施設等総合管理計画の概要

計 画 名 称	大和市公共施設等総合管理計画	
対 象 範 囲	公共建築物	行政系施設、消防施設、子育て支援施設、福祉・保健施設、学校教育系施設、社会教育系施設、市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、公営住宅、その他
	インフラ施設	道路、橋りょう、下水道、準用河川
	公園施設	総合公園、近隣公園、街区公園、都市緑地
計 画 期 間	平成28年度～平成37年度	
背景と目的	<p>平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、今後の人口減少や超高齢社会をしっかりと見据えながら、市が保有する施設について包括的に捉え、これまで以上に中長期的な視点を持って戦略的な維持管理を行い、将来にわたって必要となる行政サービスを確実に提供するとともに、財政的負担の縮減及び平準化を図ることを目的とする。</p>	
策 定 内 容	I. 公共施設等総合管理計画とは	
		1. 計画策定の背景・目的
		2. 計画の位置づけ
		3. 計画期間
		4. 計画の対象範囲
	II. 公共施設等の現状及び将来の見通し	
		1. 公共施設等の現状把握と課題
		2. 総人口や年代別人口についての今後の見通し
		3. 公共施設等の更新や維持管理等に要する中長期的な経費の見込、財政の見通し
	III. 公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本的な方針	
		1. 全庁的な取組体制の構成及び情報管理・共有方針、フォローアップの実施方針
		2. 現状や課題に関する基本認識、公共施設等の管理に関する基本的な考え方
	IV. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	
		1. 公共建築物に関する基本的な方針
		2. 道路に関する基本的な方針(橋りょうを除く)
		3. 橋りょうに関する基本的な方針
	4. 下水道に関する基本的な方針	
	5. 準用河川に関する基本的な方針	
	6. 公園に関する基本的な方針	

1.3 公共施設白書の対象

公共施設等総合管理計画で対象とする140施設から、以下の129施設を公共施設白書の対象とします。(※1)

表1-2 公共施設白書の対象一覧

施設分類	所管課	主な施設
行政系施設	管財課	市役所本庁舎
		分庁舎(2施設)
		桜ヶ丘連絡所
	警防課	消防本部
		分署(2施設)
		出張所(2施設)
消防団車庫詰所(17施設)		
消防団機械器具置場		
学校教育施設	教育総務課	小学校(19施設)
		中学校(9施設)
	保健給食課	学校給食共同調理場(3施設)
		学校薬剤師検査室
子育て支援施設	ほいく課	保育園(4施設)
		病児保育室ほか
	こども・青少年課	児童館(2施設)
		泉の森ふれあいキャンプ場
		緑野青空子ども広場
市民文化施設	生活あんしん課	コミュニティセンター(20施設)
	産業活性課	勤労福祉会館
	こども・青少年課	青少年センター
	文化振興課	文化財保管施設
		郷土民家園
		つる舞の里歴史資料館
下鶴間ふるさと館		
社会教育施設	図書・学び交流課	旧図書館
		学習センター(4施設)
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ課	大和スポーツセンター
		野球場(4施設)
		庭球場(2施設)
		スポーツ広場(5施設)
医療・福祉施設	健康福祉総務課	保健福祉センター
	障がい福祉課	障害福祉センター松風園
		障害者自立支援センター
	高齢福祉課	まごころ地域福祉センター
健康づくり推進課	地域医療センター	
公営住宅	街づくり総務課	市営住宅(6施設)
公園	みどり公園課	公園管理事務所
		引地台温水プール
		自然観察センターしらかしのいえ
		引地台公園立体駐車場
		慈緑庵
		グリーンアップセンター
		大和ゆとりの森

※1 市民活動センター、シルバー人材センター、社会福祉会館、渋谷西スポーツ広場、下鶴間少年野球場、北部浄化センター、中部浄化センター、資源選別所、市立病院、大和斎場、環境管理センター 計11施設は対象外です。

1.4 公共施設白書の構成

公共施設白書は全4章で構成されており、それぞれの関係性は以下のようになっています。

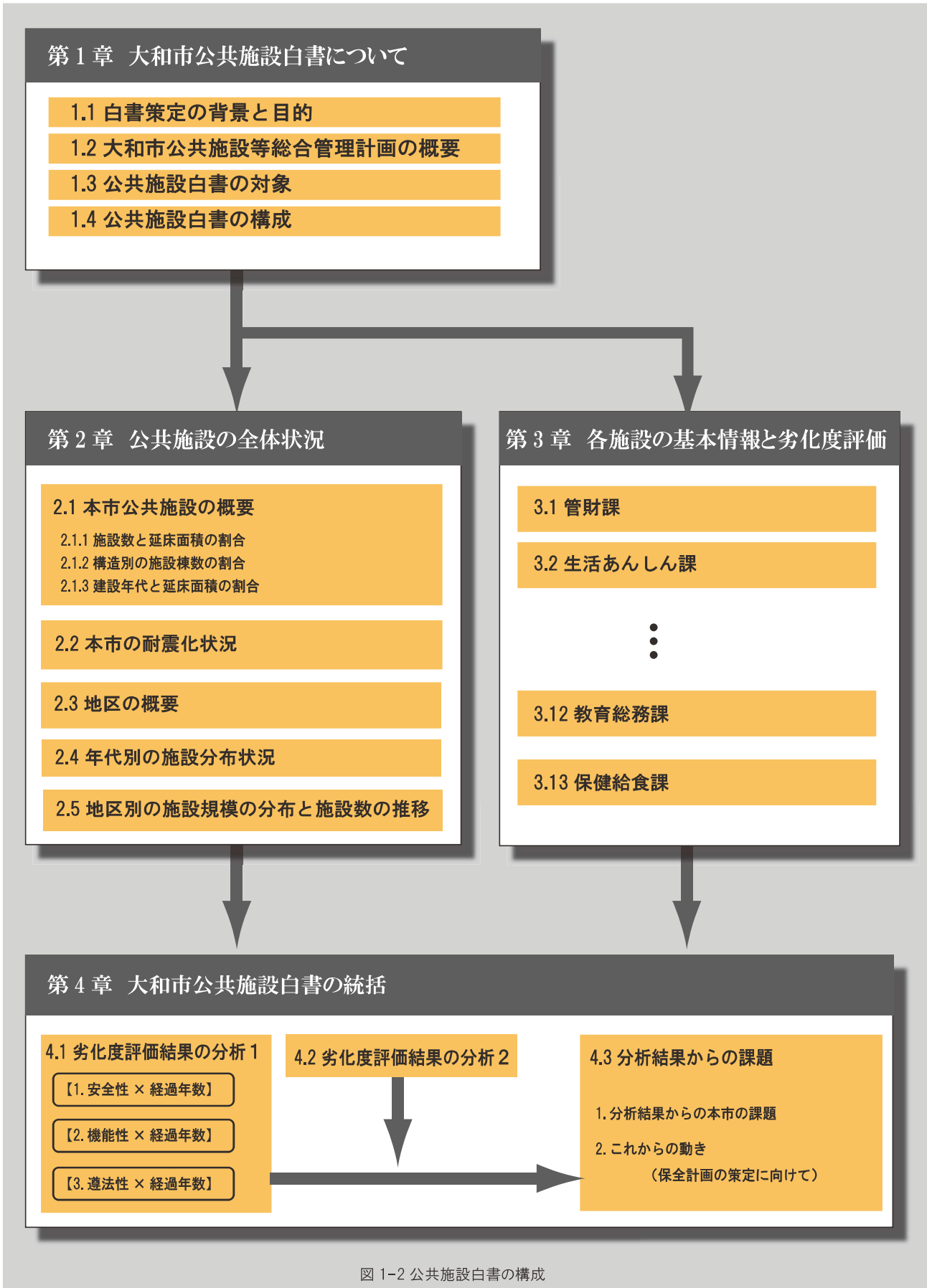


図 1-2 公共施設白書の構成

第2章 公共施設の全体状況

第1章 大和市公共施設白書について

1.1 白書策定の背景と目的	1
1.2 大和市公共施設等総合管理計画の概要	2
1.3 公共施設白書の対象	3
1.4 公共施設白書の構成	4

第2章 公共施設の全体状況

2.1 本市公共施設の概要	5
2.2 本市の耐震化状況	7
2.3 地区の概要	11
2.4 年代別の施設分布状況	14
2.5 地区別の施設規模の分布と施設数の推移	15

第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

3.1 管財課	19
3.2 生活あんしん課	20
3.3 産業活性課、健康福祉総務課、健康づくり推進課、 高齢福祉課、障がい福祉課	22
3.4 みどり公園課	23
3.5 ほいく課	25
3.6 こども・青少年課	26
3.7 文化振興課	27
3.8 図書・学び交流課	28
3.9 スポーツ課	29
3.10 街づくり総務課	31
3.11 警防課	33
3.12 教育総務課	35
3.13 保健給食課	39

第4章 大和市公共施設白書の統括

4.2 劣化度評価結果の分析 1	40
4.2 劣化度評価結果の分析 2	42
4.3 分析結果からの課題	46

第2章 公共施設の全体状況

2.1 本市公共施設の概要

本市が所有する公共施設のうち、「大和市公共施設白書」の対象となる 129 施設について、用途や施設数、延床面積、構造等から全体の状況について整理します。

2.1.1 施設数と延床面積の割合

129 施設のうち、32 施設（24%）が学校教育施設で、27 施設（20%）が行政系施設、26 施設（20%）が市民文化施設等ですが、施設分類と延床面積の関係をみると全体の約 6 割を学校教育施設が占めています。（表 2-1、図 2-1,2-2）

2.1.2 構造別の施設棟数の割合

施設により複数の棟で構成されておりその総数は 276 棟となっています。そのうち 178 棟（64%）が RC 造で最も多く、次いで 49 棟の S（鉄骨造）となります。（表 2-2、図 2-3）

2.1.3 建設年代と延床面積の割合

本市では、1960 年（S35）～1980 年（S55）代に学校教育施設や行政施設、1980 年（S55）～1990 年（H2）代には市民文化施設が多く建設され、30 年以上経過した施設が 66%を占めていることで、老朽化が深刻になると考えられます。（図 2-4、表 2-3）

表 2-1 施設分類ごとの施設数と延床面積の割合

施設分類	施設分類×施設数		施設分類×延床面積	
	施設数	割合	延床面積(㎡)	割合
行政系施設	27	20.9%	25,329.65	7.3%
学校教育施設	32	24.8%	207,501.57	59.8%
子育て支援施設	9	6.2%	3,495.80	1.0%
市民文化施設	26	20.1%	14,007.73	4.0%
社会教育施設	5	3.8%	13,592.31	3.9%
スポーツ・レクリエーション施設	12	9.3%	17,392.10	5.0%
医療・福祉施設	5	4.7%	12,748.52	3.6%
公営住宅	6	4.7%	38,886.73	11.2%
公園	7	5.5%	14,053.83	4.2%
合計	129	100.0%	347,008.24	100.0%

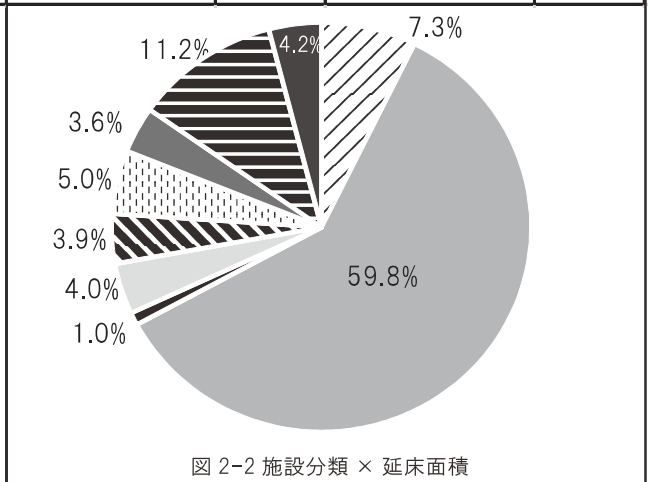
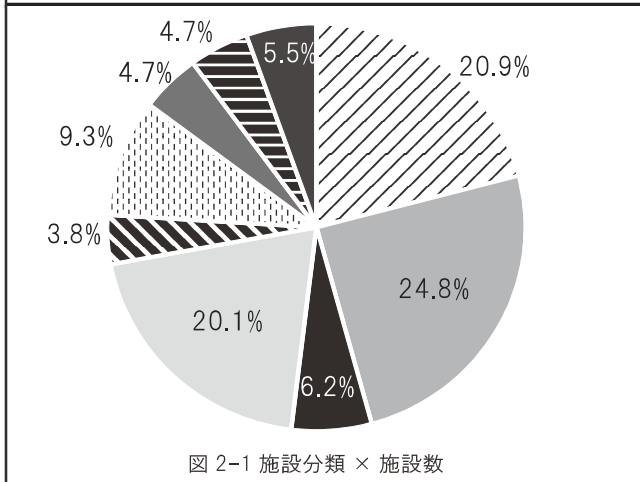


表 2-2 構造別の施設棟数の割合

構造	棟数	割合
☒ PC(プレキャストコンクリート造)	10	3.6%
■ RC(鉄筋コンクリート造)	178	64.4%
■ RC/S(// /一部鉄骨造)	2	0.7%
■ S(鉄骨造)	49	17.7%
□ SRC(鉄筋鉄骨コンクリート造)	3	1.0%
☒ W(木造)	7	2.5%
▨ アルミパネル	1	0.3%
■ 軽量鉄骨	26	9.4%
合計	276	100.0%

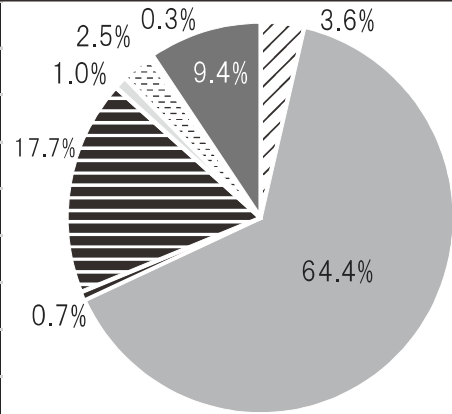


図 2-3 構造 × 施設棟数

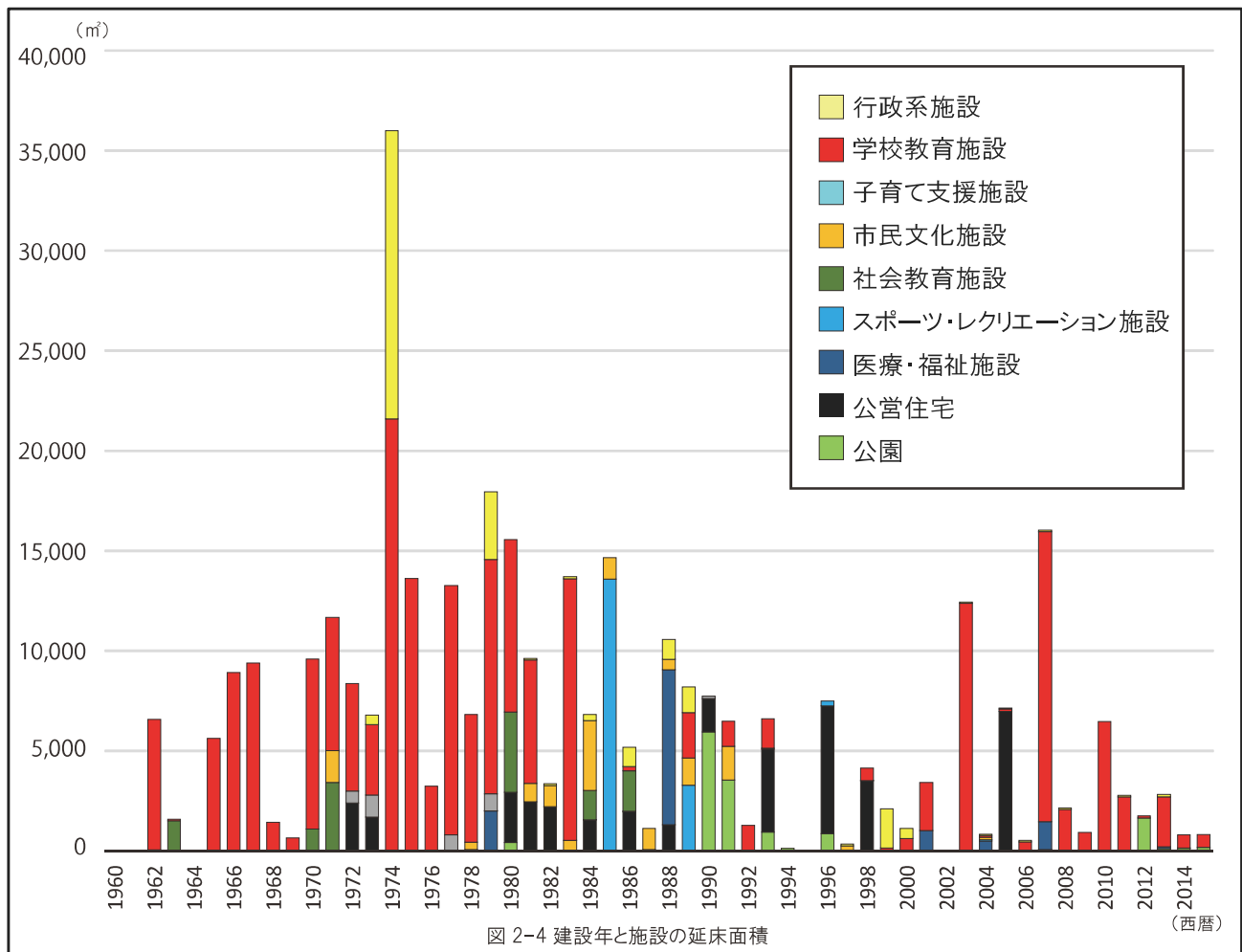


図 2-4 建設年と施設の延床面積 (西暦)

表 2-3 経過年数と棟数・延床面積の割合

経過年数	経過年数 × 棟数		経過年数 × 延床面積	
	棟数	割合	延床面積(㎡)	割合
1年～10年	34	12.3%	34,684.1	10.0%
11年～20年	32	11.6%	32,153.4	9.3%
21年～30年	33	12.0%	49,679.6	14.3%
31年～	177	64.1%	230,491.2	66.4%
合計	276	100.0%	347,008.2	100.0%

2.2 本市の耐震化状況

本市では、平成7年度の建築物の耐震改修の促進に関する法律の施行を受け、公共施設の耐震診断を実施しています。診断は、神奈川県基準、日本建築防災協会基準などに準拠して行っており、白書の対象となる129施設・276棟の耐震化状況を一覧に示します。(表2-4、図2-5)

これら276棟のうち、149棟は新耐震基準で、残りの127棟が旧耐震基準(1981以前)で建設されました。

125棟の旧耐震基準のものは耐震診断を実施し、強度不足が判明したものについては、耐震補強工事を実施しています。(表2-5)

大和市耐震改修促進計画では、公共施設の耐震化率の目標(平成30年度末)を100%としており、これまで耐震診断及び耐震補強工事、建替え工事を計画的に進めてきました。

そのため今後は、残り消防分団器具機械倉庫ほか2棟の耐震性確保の検討が課題となっています。

表2-4 本市公共施設の耐震化状況(割合)

耐震仕様		棟数	割合
■ 新耐震基準の建物		149	54.0%
旧耐震基準の建物	▨ 耐震補強改修 済又は不要	125	45.3%
	■ 耐震補強改修 未実施	2	0.7%
合計		276	100.0%



図2-5 耐震化状況

表2-5 本市公共施設の耐震化状況(詳細)

所管課	番号	施設名称	棟名称	新築年度	耐震診断		耐震補強	備考
				西暦	対象	実施年度	実施年度	
管財課	1	市役所本庁舎	本棟	1974	●	H19年度	H22年度	—
			車庫・管理棟	1974	●	H24年度	H27年度	—
			会議室等	1999	—	—	—	—
	2	第1分庁舎	—	1986	—	—	—	—
3	第2分庁舎	—	1973	●	H23年度	不要	—	
4	桜ヶ丘連絡所	—	1973	—	—	—	—	
生活あんしん課	5	コミュニティセンター公所会館	—	1989	—	—	—	—
	6	コミュニティセンター中央林間会館	—	1991	—	—	—	—
	7	コミュニティセンター緑野会館	—	1987	—	—	—	—
	8	コミュニティセンター南林間会館	—	1984	—	—	—	—
	9	コミュニティセンター西鶴間会館	—	1982	—	—	—	—
	10	コミュニティセンター鶴間会館	—	1984	—	—	—	—
	11	コミュニティセンター下鶴間会館	—	1981	●	H7年度	不要	—
	12	コミュニティセンター深見北会館	—	1991	—	—	—	—
	13	コミュニティセンター上草柳会館	—	1978	●	H7年度	不要	—
	14	コミュニティセンター深見中会館	—	1985	—	—	—	—
	15	コミュニティセンター桜森会館	—	1984	—	—	—	—
	16	コミュニティセンター草柳会館	—	1993	—	—	—	—
	17	コミュニティセンター深見南会館	—	1989	—	—	—	—
	18	コミュニティセンター下草柳会館	—	1983	—	—	—	—
	19	コミュニティセンター柳橋会館	—	1991	—	—	—	—
	20	コミュニティセンター桜丘会館	—	1984	—	—	—	—
	21	コミュニティセンター福田会館	—	1987	—	—	—	—
	22	コミュニティセンター上和田会館	—	1985	—	—	—	—
	23	コミュニティセンター下和田会館	—	1988	—	—	—	—
	24	コミュニティセンター下福田会館	—	1982	—	—	—	—
産業活性課	25	勤労福祉会館	—	1984	—	—	—	—

みどり公園課	26	公園管理事務所	—	1980	●	未実施	未実施	—	
	27	引地台温水プール	—	1990	—	—	—	—	
	28	自然観察センターしらかしのいえ	—	1996	—	—	—	—	
	29	引地台公園立体駐車場	—	1991	—	—	—	—	
	30	慈緑庵	—	1994	—	—	—	—	
	31	グリーンアップセンター	—	1993	—	—	—	—	
	32	大和ゆとりの森	仲良しプラザ	—	2012	—	—	—	—
			管理作業所	—	2013	—	—	—	—
			スタンドサイドトイレ	—	2014	—	—	—	—
			トイレ・休憩所	—	2014	—	—	—	—
			休憩所(わんぱく広場)	—	2012	—	—	—	—
管理人詰所			—	2012	—	—	—	—	
芝生グラウンド南側トイレ			—	2007	—	—	—	—	
スポーツハウス	—	2015	—	—	—	—			
健康福祉総務課	33	保健福祉センター	—	1988	—	—	—	—	
健康づくり推進課	34	地域医療センター	—	2007	—	—	—	—	
高齢福祉課	35	まごころ地域福祉センター	—	2001	—	—	—	—	
障がい福祉課	36	障害福祉センター松風園	—	1979	●	H7年度	不要	—	
	37	障害者自立支援センター	—	2004	—	—	—	—	
ほいく課	38	緑野保育園	—	1972	●	H7年度	不要	—	
	39	若葉保育園	—	1973	●	H7年度	H9年度	—	
	40	草柳保育園	—	1977	●	H7年度	H9年度	—	
	41	福田保育園	—	1979	●	H7年度	H9年度	—	
	42	病児保育ぼかぼか	—	2013	—	—	—	—	
子ども・青少年課	43	青少年センター	—	1971	●	H7年度	不要	—	
	44	子安児童館	—	1973	—	—	—	—	
	45	上和田東児童館	—	1973	—	—	—	—	
	46	泉の森ふれあいキャンプ場	管理棟	1990	—	—	—	—	
	47	緑野青空子ども広場	トイレ	1998	—	—	—	—	
文化振興課	48	文化財保管施設	本棟	1981	—	—	—	—	
			増築棟	1989	—	—	—	—	
	49	郷土民家園	—	1994	—	—	—	—	
	50	つる舞の里歴史資料館	—	1998	—	—	—	—	
51	下鶴間ふるさと館	—	2006	—	—	—	—		
図書・学び交流課	52	旧図書館	—	1980	●	H7年度	不要	—	
	53	旧生涯学習センター	本館	1963	●	S61年度	S63年度	—	
			北館・ホール	1971	●	S61年度	S63年度	—	
	54	つきみ野学習センター	—	1986	—	—	—	—	
	55	林間学習センター	—	1970	●	H7年度	H10年度	—	
	56	桜丘学習センター	—	1984	—	—	—	—	
スポーツ課	57	大和スポーツセンター	体育会館	1985	—	—	—	—	
			カフェテリア	2004	—	—	—	—	
			陸上競技場	1989	—	—	—	—	
	58	大和スタジアム	管理棟	1996	—	—	—	—	
	59	つきみ野野球場	倉庫等	1969	—	—	—	—	
	60	宮久保野球場	事務室	1982	—	—	—	—	
	61	下福田野球場	事務室等	1986	—	—	—	—	
	62	草柳庭球場	管理棟	1978	—	—	—	—	
	63	渋谷西庭球場	トイレ等	1979	—	—	—	—	
	64	桜森スポーツ広場	トイレ等	1980	—	—	—	—	
	65	宮久保スポーツ広場	トイレ等	1982	—	—	—	—	
66	南林間スポーツ広場	トイレ等	1984	—	—	—	—		
67	下福田スポーツ広場	トイレ等	2009	—	—	—	—		
68	深見歴史の森スポーツ広場	トイレ等	2014	—	—	—	—		
街づくり総務課	69	緑野住宅(中層)	1号棟	1973	●	H7年度	不要	—	
			2号棟	1972	●	H7年度	不要	—	
			3号棟	1972	●	H7年度	不要	—	
			集会所	1973	●	H7年度	H9年度	—	
	70	緑野(高層)	A棟	1996	—	—	—	—	
			B棟	1998	—	—	—	—	
			集会所	1996	—	—	—	—	

街づくり総務課	71	つきみ野住宅	1号棟	1980	●	H7年度	不要	—	
			2号棟	1980	●	実施不要	不要	1号棟と同等	
			3号棟	1981	●	実施不要	不要	1号棟と同等	
			4号棟	1982	—	—	—	—	
			5号棟	1984	—	—	—	—	
			集会所	1981	●	実施不要	不要	—	
	72	渋谷住宅	1号棟	1986	—	—	—	—	
			2号棟	1988	—	—	—	—	
			集会所	1987	—	—	—	—	
	73	鶴間台住宅	鶴間台住宅	2005	—	—	—	—	
	74	やよい住宅	1号棟	1990	—	—	—	—	
			2号棟	1993	—	—	—	—	
			集会所	1993	—	—	—	—	
	警防課	75	消防本部	本棟	1979	●	H7年度	H9・10年度	—
				増築棟	2000	—	—	—	—
車庫・屋内訓練棟				1979	●	H22年度	不要	—	
外部訓練棟(主塔)				1988	—	—	—	—	
外部訓練棟(補助棟)				1988	—	—	—	—	
76		消防北分署	—	1999	—	—	—	H11年度 建替え実施	
77		消防南分署	—	1989	—	—	—	—	
78		消防西出張所	—	1984	—	—	—	—	
79		消防柳橋出張所	本棟	1979	●	H7年度	不要	—	
			増築棟	2013	—	—	—	—	
80		第1分団車庫詰所	—	1982	—	—	—	—	
81		第2分団車庫詰所	—	2003	—	—	—	—	
82		第3分団1班車庫詰所	—	1981	—	—	—	—	
83		第3分団2班車庫詰所	—	2016	—	—	—	H28年度 建替え実施	
84		第3分団3班車庫詰所	—	1983	—	—	—	—	
85		第4分団車庫詰所	—	2004	—	—	—	H15年度 建替え実施	
86		第5分団車庫詰所	—	1997	—	—	—	—	
87		第6分団車庫詰所	—	1986	—	—	—	—	
88		第7分団車庫詰所	—	2011	—	—	—	H23年度 建替え実施	
89		第8分団車庫詰所	—	1982	—	—	—	—	
90		第9分団車庫詰所	—	2006	—	—	—	H18年度 建替え実施	
91		第10分団1班車庫詰所	—	1981	—	—	—	—	
92		第10分団2班車庫詰所	—	1983	—	—	—	—	
93	第10分団3班車庫詰所	—	2008	—	—	—	H20年度 建替え実施		
94	第11分団1班車庫詰所	—	2005	—	—	—	—		
95	第11分団2班車庫詰所	—	1979	—	—	—	—		
96	第12分団車庫詰所	—	2007	—	—	—	—		
97	消防団機械器具置場	—	1979	●	未実施	未実施	—		
教育総務課	98	北大和小学校	校舎	1967	●	H2年度	H7年度	—	
			屋内運動場	1977	●	H7年度	H14年度	—	
			放課後児童ホーム	2000	—	—	—	—	
	99	林間小学校	校舎	1965	●	H2年度	H9・10年度	—	
			屋内運動場・特別教室棟	2008	—	—	—	H20年度 建替え実施	
	100	大和小学校	校舎	1965	●	H2年度	H8年度	—	
			屋内運動場・特別教室棟	2011	—	—	—	H22年度 建替え実施	
	101	草柳小学校	校舎	1962	●	H2年度	H9・10年度	—	
			屋内運動場	2010	—	—	—	H22年度 建替え実施	
	102	深見小学校	校舎	1966	●	H2年度	H12年度	—	
			屋内運動場	2010	—	—	—	H22年度 建替え実施	
	103	桜丘小学校	校舎	1967	●	H2年度	H8年度	—	
			屋内運動場	2009	—	—	—	H21年度 建替え実施	
	104	渋谷小学校	校舎	1967	●	H2年度	H8.9年度	—	
			屋内運動場・特別教室棟	2001	—	—	—	H17年度 建替え実施	
105	西鶴間小学校	校舎	1966	●	H2年度	H11年度	—		
		屋内運動場	1977	●	H7年度	H15年度	—		

教育総務課	106 緑野小学校	校舎	1970	●	H1年度	H8年度	—
		屋内運動場・特別教室棟	2010	—	—	—	H22年度 建替え実施
		放課後児童ホーム	1998	—	—	—	—
	107 上和田小学校	校舎	1971	●	H1年度	H12年度	—
		屋内運動場	1977	●	H7年度	H17年度	—
	108 柳橋小学校	校舎	1972	●	H1年度	H13年度	—
		屋内運動場	1977	●	H7年度	H16年度	—
	109 南林間小学校	校舎	1974	●	H1年度	H11年度	—
		屋内運動場	1976	●	H7年度	H15年度	—
	110 福田小学校	校舎	1974	●	H1年度	H8・9年度	—
		屋内運動場	1977	●	H7年度	H16年度	—
		放課後児童ホーム	1999	—	—	—	—
	111 大野原小学校	校舎	1976	●	H1年度	H12年度	—
		屋内運動場	1976	●	H7年度	H17年度	—
		放課後児童ホーム	2005	—	—	—	—
	112 下福田小学校	校舎	1977	●	H1年度	H13年度	—
		屋内運動場・特別教室棟	1977	●	H7年度	不要	—
	113 大和東小学校	校舎	1978	●	H1年度	H7年度	—
		屋内運動場・特別教室棟	1978	●	H7年度	H8年度	—
		放課後児童ホーム	2012	—	—	—	—
	114 文ヶ岡小学校	校舎	1980	●	H1年度	H14年度	—
		屋内運動場・特別教室棟	1989	●	H7年度	不要	—
		放課後児童ホーム	1999	—	—	—	—
	115 中央林間小学校	校舎	1981	—	—	—	—
		屋内運動場・特別教室棟	1981	—	—	—	—
放課後児童ホーム		2004	—	—	—	—	
116 引地台小学校	校舎	1983	—	—	—	—	
	屋内運動場・特別教室棟	1983	—	—	—	—	
	放課後児童ホーム	2008	—	—	—	—	
117 大和中学校	校舎	1962	●	H2年度	H8年度	—	
	屋内運動場・講堂	1978	●	H2年度	不要	—	
118 光丘中学校	校舎	2007	—	—	—	H19年度 建替え実施	
	屋内運動所	2007	—	—	—	H19年度 建替え実施	
	水泳プール・武道場	1993					
	部室棟	2007				H19年度 建替え実施	
119 渋谷中学校	校舎	2003	—	—	—	H16年度 建替え実施	
	武道場・特別教室棟	2003	—	—	—	H16年度 建替え実施	
	屋内運動場・特別教室棟	2003	—	—	—	H16年度 建替え実施	
120 つきみ野中学校	校舎	1970	●	H2年度	H8・9年度	—	
	屋内運動場・特別教室棟	2010	—	—	—	H22年度 建替え実施	
	水泳プール・武道場	1992	—	—	—	—	
121 鶴間中学校	校舎	1974	●	H1年度	H11年度	—	
	屋内運動場	1976	●	H7年度	H11年度	—	
122 引地台中学校	校舎	1975	●	H1年度	H9・10年度	—	
	屋内運動場	1977	●	H7年度	H18年度	—	
123 上和田中学校	校舎	1979	●	H1年度	H12年度	—	
	屋内運動場	1979	●	H7年度	H11年度	—	
124 南林間中学校	校舎	1980	●	H1年度	不要	—	
	屋内運動場	1980	●	H7年度	不要	—	
125 下福田中学校	校舎	1983	—	—	—	—	
	屋内運動場	1983	—	—	—	—	
	水泳プール・武道場	1991	—	—	—	—	
保健給食課	126 北部学校給食共同調理場	—	1973	●	H7年度	H26年度	—
	127 南部学校給食共同調理場	—	1975	●	H7年度	不要	—
	128 中部学校給食共同調理場	—	1980	●	H7年度	不要	—
	129 学校薬剤師検査室	—	2013	—	—	—	—

2.3 地区の概要

「大和市都市計画マスタープラン」に基づく地域をさらに地区に細分化し、地区別の特徴や人口、また地区内の施設数について整理します。

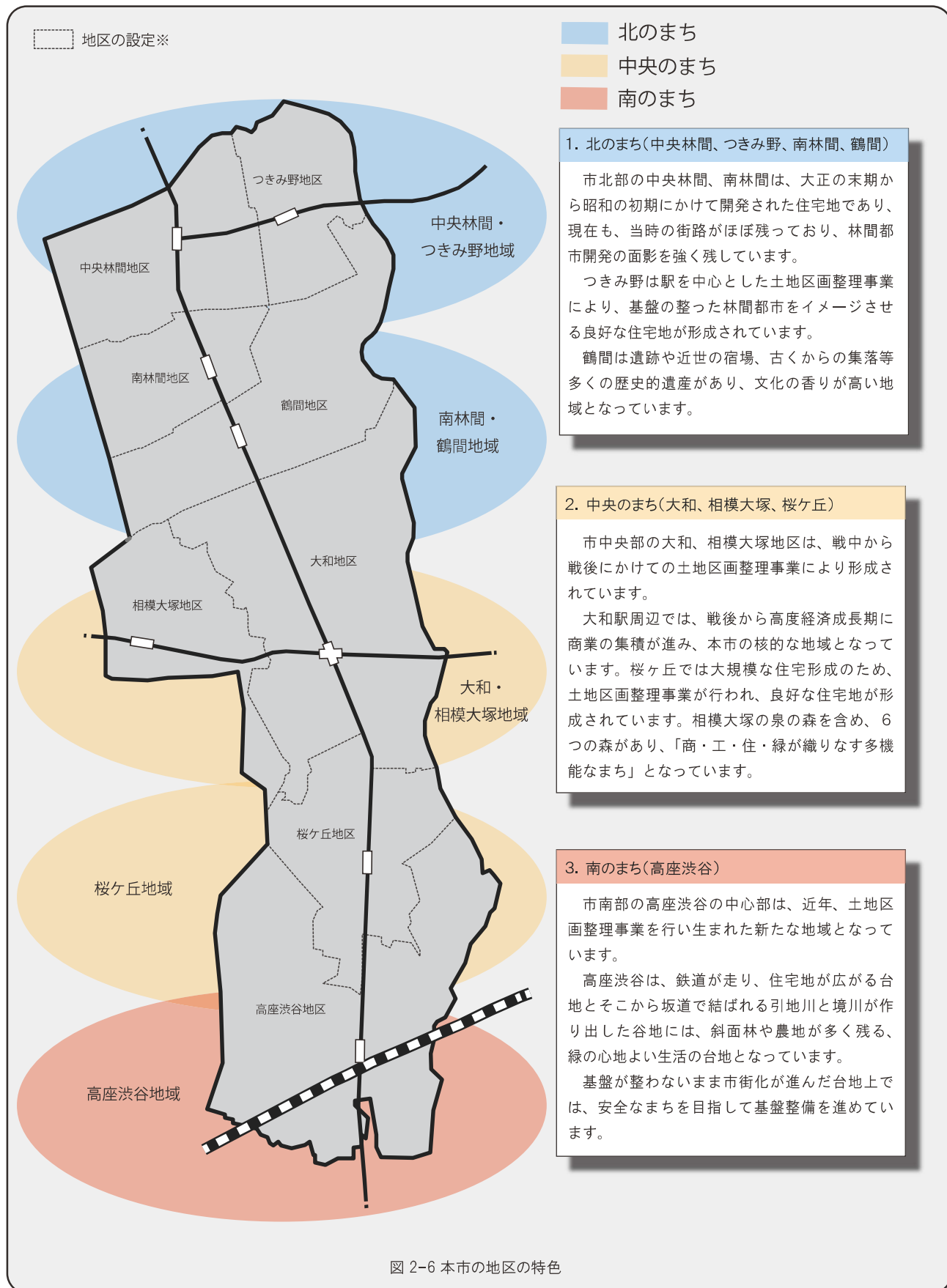


図 2-6 本市の地区の特色

※ 大和市 HP「大和市の地区別人口と世帯」の地区割略図から今回の分析上で活用するために設定しているため、実際の地区との差異がある可能性があります。

北のまちは、昭和 20 年代の林間都市開発により整備された中央林間地区、南林間地区、昭和 40 年代の土地区画整理事業により整備されたつきみ野駅を中心とする地区と、江戸時代からの宿場町として発展してきた鶴間地区からなり、現在では本市の人口の約半数を占めています。さらに近年では、中央林間駅周辺で大型マンションの建設が増加しています。

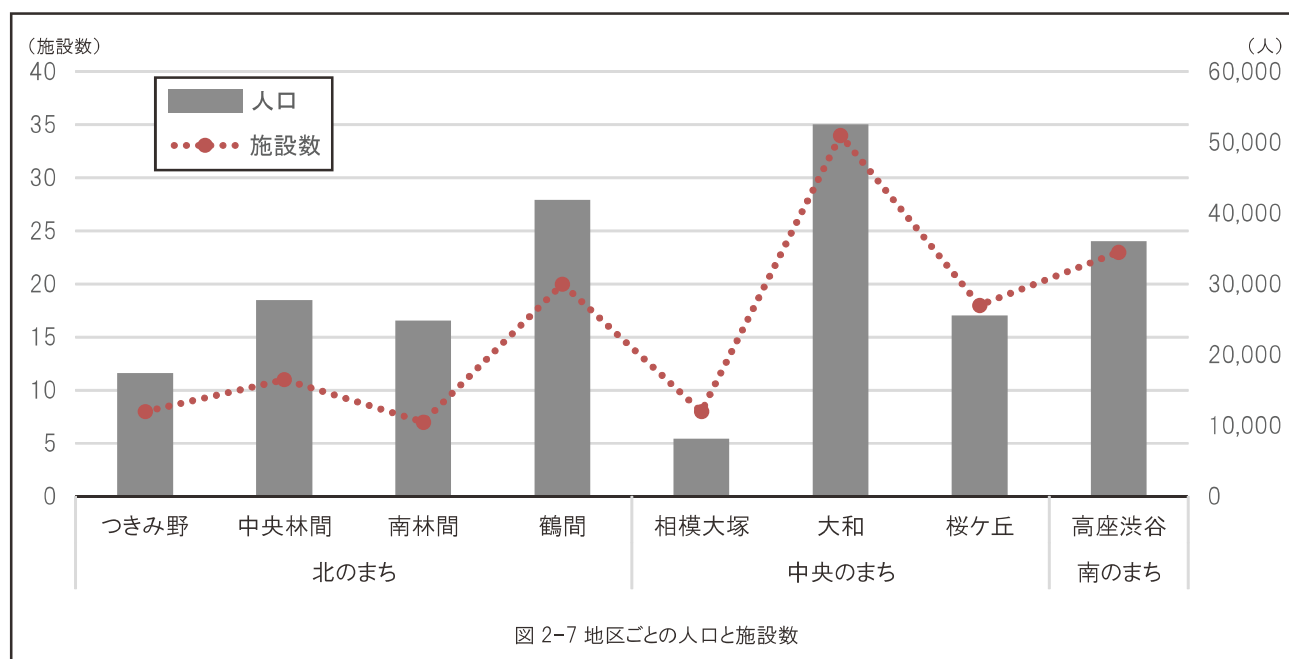
中央のまちは、昭和 10 ～ 30 年（1935 年～ 1955 年）代にかけて軍都計画に基づき整備が行われてきた地域が中心です。特に大和駅周辺は小田急江ノ島線と相模鉄道本線の連続立体交差化事業により駅前の開発が進められてきた本市の中心市街地であり、公共施設の約半数がこのエリアに建設されています。近年では大和駅東側第 4 地区第一種市街地再開発事業（組合施行）が行われました。

南のまちは、昭和 40 年代から行われた土地区画整理事業により整備された住宅地が中心であり、現在ゆとりの森など新たな市民の憩いの場の整備が進んでいます。

表 2-6 地区ごとの人口と施設数

(H28.11.1 時点)

区 分			施設数	人 口(※3)	
まち(※1)	地 域(※2)	地 区		地区の人口(人)	3地域合計(人)
北のまち	中央林間・つきみ野	つきみ野	8	17,398	111,756
		中央林間	11	27,721	
	南林間・鶴間	南林間	7	24,798	
		鶴間	20	41,839	
中央のまち	大和・相模大塚	相模大塚	8	8,109	86,202
		大和	34	52,555	
	桜ヶ丘	18	25,538		
南のまち	高座渋谷	高座渋谷	23	36,070	36,070
合計			129	234,028	234,028



※1 「第 8 次大和市総合計画（後期基本計画）」の土地利用の方向性に基づくまち分けの考え。

※2 「大和市都市計画マスタープラン」の地域別方針に基づく地域分けの考え。

※3 大和市 HP 「大和市の地区別人口と世帯」(H28.11.1 時点) より作成。

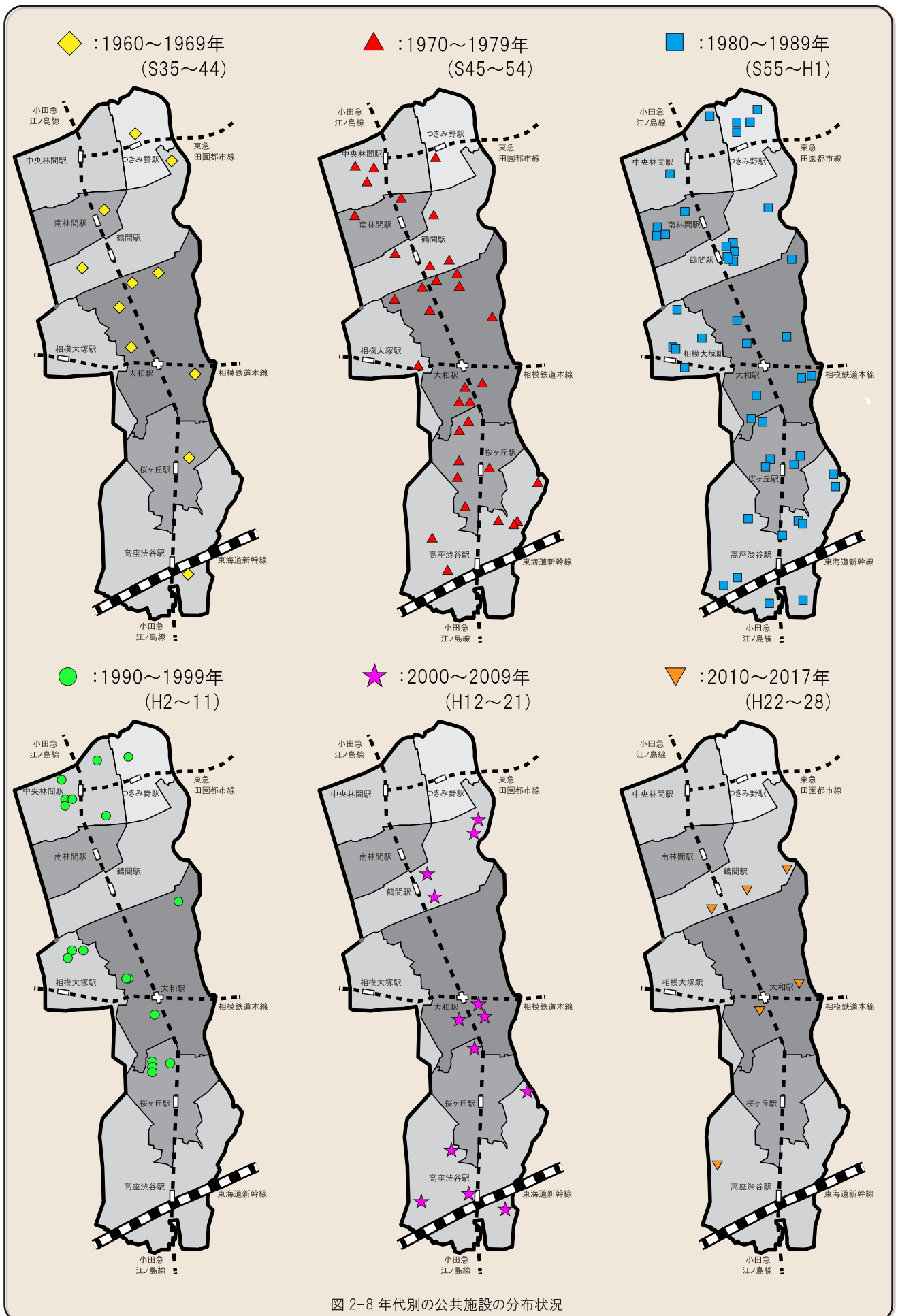


図 2-8 年代別の公共施設の分布状況

2.4 年代別の施設分布状況

本市では他の自治体同様に高度経済成長の波を受け、1960年（S35年）～1980年（S55年）代にかけて多くの公共施設が建設され、現存する施設の2/3はこの時期に建設されています。

1960年（S35年）代は、主に鶴間地区や大和地区など市内中心部に学校教育施設等が建設され、1970年（S45年）代は、駅周辺に行政系施設や学校教育施設、子育て支援施設など基本的な市民サービスを提供する施設が建設されています。

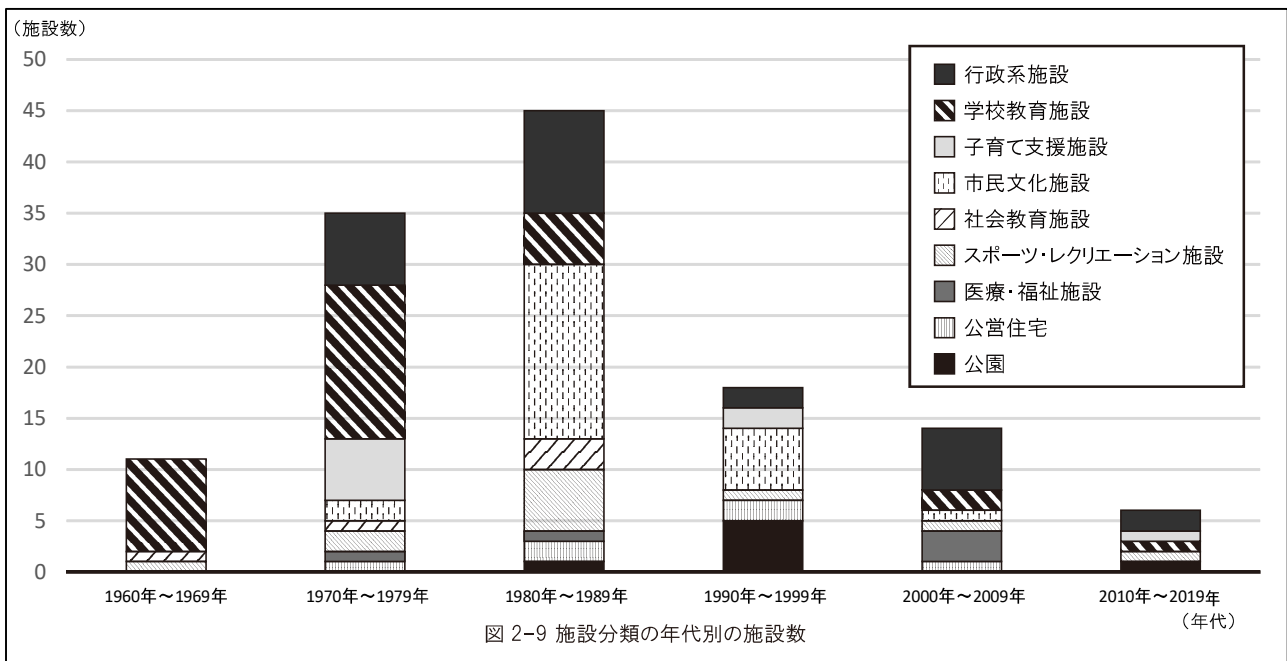
さらに、1980年（S55年）代には中心部の公共施設の整備を終え、周辺部での市民サービスの拡充を目的とした市民文化施設の建設が増加しています。また、コミュニティセンターもこの時期に集中して建設されています。

1990年（H2年）代以降は市内全体の施設整備は一段落し、駅前などでのさらなる市民サービスの拡充のための局所的な施設整備に留まっています。

また、近年では当初の役割を終えた施設のリノベーションを行うなどの新たな整備手法も積極的に取り入れています。

表 2-7 施設分類の年代別の施設数

施設分類	1960年～ 1969年	1970年～ 1979年	1980年～ 1989年	1990年～ 1999年	2000年～ 2009年	2010年～ 2019年	施設合計
行政系施設	0	7	10	2	6	2	27
学校教育施設	9	15	5	0	2	1	32
子育て支援施設	0	6	0	2	0	1	8
市民文化施設	0	2	17	6	1	0	26
社会教育施設	1	1	3	0	0	0	5
スポーツ・レクリエーション施設	1	2	6	1	1	1	12
医療・福祉施設	0	1	1	0	3	0	6
公営住宅	0	1	2	2	1	0	6
公園	0	0	1	5		1	7
施設合計	11	35	45	18	14	6	129



2.5 地区別の施設規模の分布と施設数の推移

地区別に施設分類ごとの延床面積をみると、学校教育施設は数が多く、規模も大きいため各地区で大部分の割合を占めています。（表 2-8、図 2-10）

つきみ野地区や中央林間地区では、学校教育施設の次に公営住宅や市民行政系施設、市民文化施設の延床面積が多くなっています。また、近年、民間建物や公有地を活用しながら、図書館や学習センターの整備を進めています。

年代別の施設数の推移を他の地区と比較すると 1990 年（H2 年）代以降の施設数に大きな変化はありません。（表 2-9、図 2-11）

鶴間地区と大和地区には、行政系施設や子育て支援施設、医療施設などが集まっています。年代別の施設数の推移をみても他の地域よりも早い時期から公共施設の建設が進められており、2016 年（H28 年）11 月には大和市文化創造拠点シリウスが整備され、施設数は増加しました。

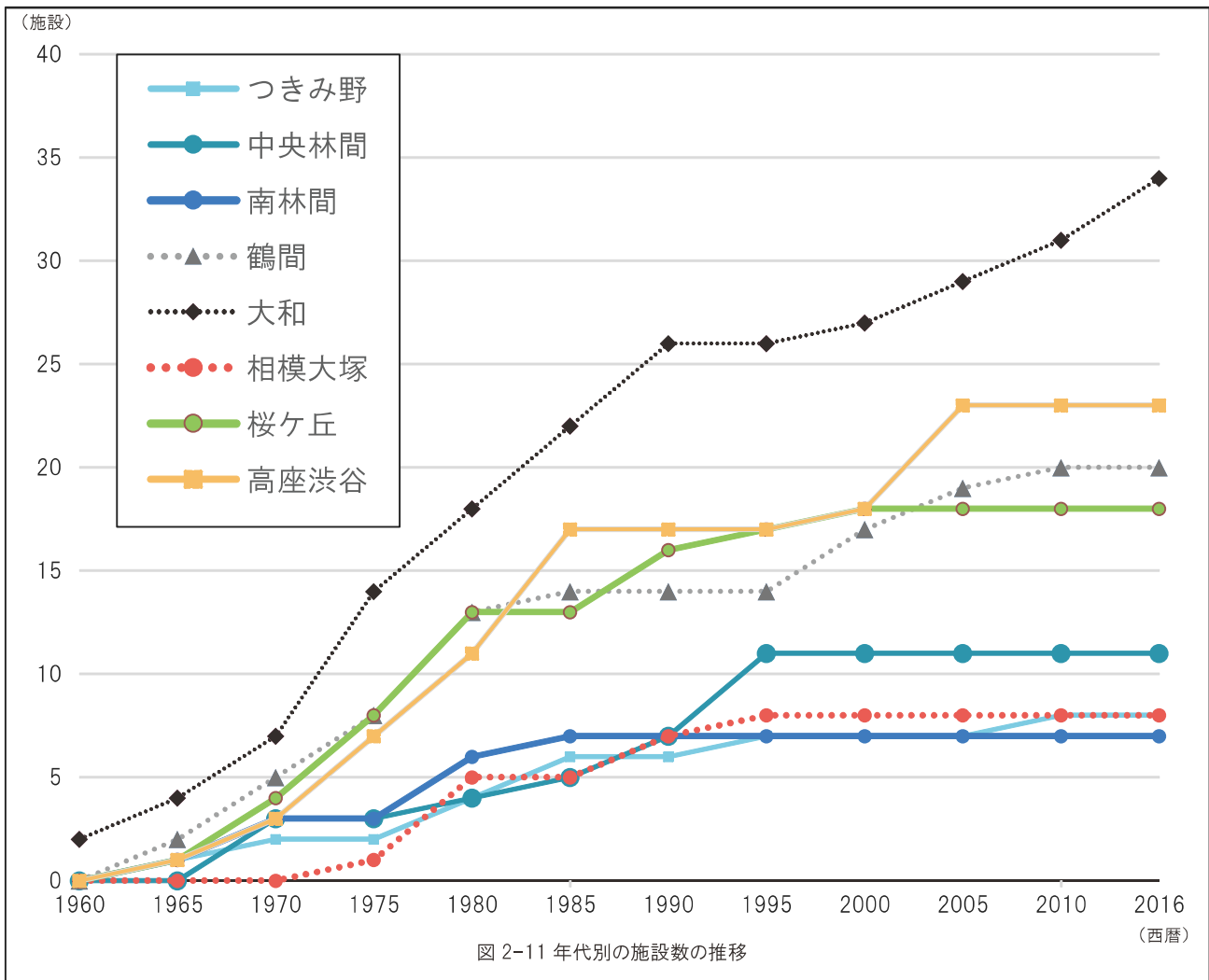
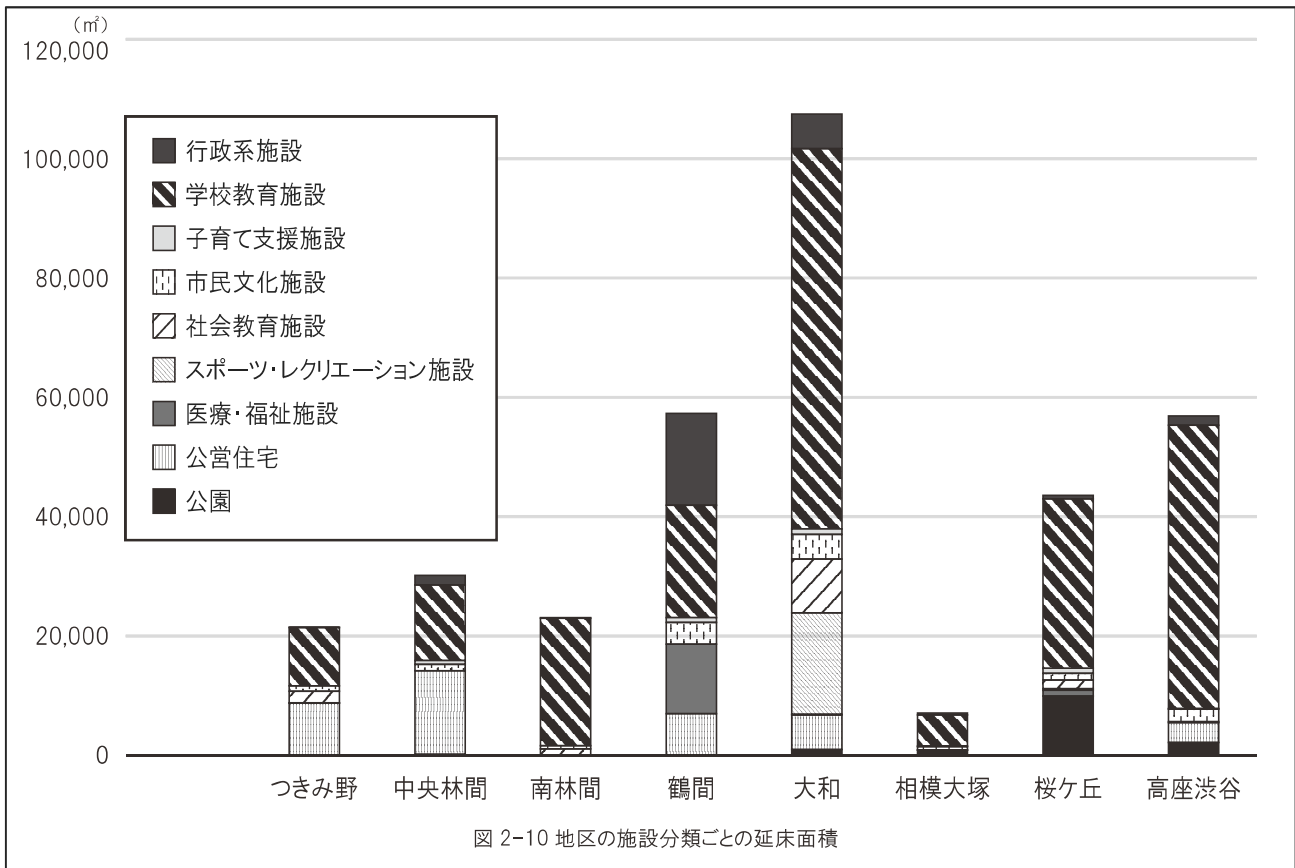
高座渋谷地区では、1970 年（S45 年）代からの土地区画整理事業によるまちづくりを進めながら、高座渋谷駅前複合ビル「IKOZA」の整備を行うなど、近年施設数が増加しました。

表 2-8 地区の施設分類ごとの延床面積

地区名	行政系施設	学校教育施設	子育て支援施設	市民文化施設	社会教育施設	スポーツ・レクリエーション施設	医療・福祉施設	公営住宅	公園
つきみ野	49.67	9,829.21	0	834.56	2,011.17	28.59	0	8,734.17	0
中央林間	1,615.61	12,708.88	615.06	1,078.28	0	0	0	14,015.86	139.74
南林間	49.67	21,361.94	0	529.95	1,109.56	4.00	0	0	0
鶴間	15,393.89	18,869.63	752.73	3,690.62	0	0	11,638.18	6,978.30	0
大和	5,752.20	63,717.24	986.77	4,114.90	9,001.24	17,031.73	91.35	5,813.68	944.00
相模大塚	359.05	5,161.76	124.23	571.29	0	15.27	0	0	864.00
桜ヶ丘	580.40	28,380.31	846.91	1,074.15	1,470.34	231.34	1,018.99	0	9,931.38
高座渋谷	1,529.16	47,472.60	170.10	2,113.98	0	81.17	0	3,344.72	2,174.71
合計	25,329.65	207,501.57	3,495.80	14,007.73	13,592.31	17,392.10	12,748.52	38,886.73	14,053.83

表 2-9 年代別の施設数の推移

地区	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2016年	合計
つきみ野	0	1	2	2	4	6	6	7	7	7	8	8	8
中央林間	0	0	3	3	4	5	7	11	11	11	11	11	11
南林間	0	1	3	3	6	7	7	7	7	7	7	7	7
鶴間	0	2	5	8	13	14	14	14	17	19	20	20	20
大和	2	4	7	14	18	22	26	26	27	29	31	34	34
相模大塚	0	0	0	1	5	5	7	8	8	8	8	8	8
桜ヶ丘	0	1	4	8	13	13	16	17	18	18	18	18	18
高座渋谷	0	1	3	7	11	17	17	17	18	23	23	23	23
合計	2	10	27	46	74	89	100	107	113	122	126	129	129



第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

第1章 大和市公共施設白書について

1.1 白書策定の背景と目的	1
1.2 大和市公共施設等総合管理計画の概要	2
1.3 公共施設白書の対象	3
1.4 公共施設白書の構成	4

第2章 公共施設の全体状況

2.1 本市公共施設の概要	5
2.2 本市の耐震化状況	7
2.3 地区の概要	11
2.4 年代別の施設分布状況	14
2.5 地区別の施設規模の分布と施設数の推移	15

第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

3.1 管財課	19
3.2 生活あんしん課	20
3.3 産業活性課、健康福祉総務課、健康づくり推進課、 高齢福祉課、障がい福祉課	22
3.4 みどり公園課	23
3.5 ほいく課	25
3.6 こども・青少年課	26
3.7 文化振興課	27
3.8 図書・学び交流課	28
3.9 スポーツ課	29
3.10 街づくり総務課	31
3.11 警防課	33
3.12 教育総務課	35
3.13 保健給食課	39

第4章 大和市公共施設白書の統括

4.1 劣化度評価結果の分析1	40
4.2 劣化度評価結果の分析2	42
4.3 分析結果からの課題	46

第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

1. 施設の概要について

各施設の基本情報（名称、所在地、建設年、構造、延床面積等）を整理しています。

2. 施設の劣化度評価について

各施設について、以下の表に示す評価項目に基づき調査を実施しています。

表 評価の観点 1

項目	説明
安全性	利用者の安全確保や今後の利用が可能かどうかを、建物本体の耐震性能や躯体の劣化状況・変形等の有無から評価します。
機能性	建物の必要性能が確保されているかを、屋根、内外装、建具等の劣化状況から、給排水衛生設備、空調換気設備、電気設備等の更新状況から評価します。
遵法性	法令に準拠した建物となっているかを、建築基準法、消防法、電気事業法の点検結果の是正指摘の有無から評価します。

表 評価の観点 2

項目	細目	調査項目	
安全性	耐震	耐震促進法に基づく耐震性能	
	躯体	建物の損傷	
		漏水の発生	
建物の変形			
機能性	仕上の劣化	屋根材の劣化	
		外壁材の劣化	
		建具の劣化	扉
			窓
		内装材の劣化	床
			壁
	天井		
	設備の劣化	給排水・衛生	給水設備
			排水設備
			衛生設備
		空調・換気設備	
		電気・通信	電気設備
			通信・情報設備
昇降機			
外構の劣化	擁壁、塀・フェンス・柵		
	門扉		
	敷地内通路		
遵法性	建築基準法(建築物)		
	建築基準法(設備、昇降機)		
	消防法(消防設備)		
	電気事業法(自家用電気工作物)		

施設調査に伴う調査結果をもとに、劣化度の評価は、安全性、機能性、遵法性の観点からそれぞれ 5 段階評価（A ～ E）に変換し劣化状況を細かく分類しています。劣化状況の目安は以下のとおりです。

表 評価の観点 3

評価	評価点	状況の目安
A	8点以上	概ね良好です。
B	7点以上、8点未満	比較的良好な状態ですが、状態を観察する必要があります。
C	6点以上、7点未満	一部に劣化・不具合が発生しており、状態を観察する必要があります。
D	5点以上、6点未満	劣化・不具合が発生しており、状態に合わせて対応を検討する必要があります。
E	5点未満	劣化・不具合が目立つ状態にあり、対応を優先的に検討する必要があります。

3.1 管財課

1. 施設の概要



管財課では、市役所本庁舎をはじめ、第1分庁舎や第2分庁舎、桜ヶ丘連絡所など、市の行政事務を行う中心的な施設を所管しています。

現在の市役所本庁舎は昭和49年（1974年）に木造の旧市庁舎から移転新築したもので、耐震補強工事や省エネ改修工事などを行い、機能性の向上を進めながら公共サービスの提供拠点としての役割を担っています。近年では旧地域医療センターを第2分庁舎として再整備するなど、建物のストック活用も積極的に行っています。

表 3-1 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
市役所本庁舎	下鶴間1丁目1-1	本棟	13,319.75	SRC	5	1	1974
		車庫・管理棟	1,137.79	S	1	—	1974
		会議室棟	418.62	S	2	—	1999
第1分庁舎	深見西8丁目6-12	—	911.40	S	3	—	1986
第2分庁舎	鶴間1丁目25-15	—	395.44	RC	2	—	1973
桜ヶ丘連絡所	福田5511-1	—	70.08	軽量 鉄骨	1	—	1973

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-2 施設の劣化度評価一覧

() 内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合 評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
市役所本庁舎	本棟	B	C	D	C	C
	車庫・管理棟	A	A	A	(A)	
	会議室棟	A	A	A	(A)	
第1分庁舎	—	A	A	B	A	A
第2分庁舎	—	A	A	A	A	A
桜ヶ丘連絡所	—	A	D	A	A	A

3.2 生活あんしん課

1. 施設の概要



生活あんしん課では、コミュニティセンター 20 館を所管しています。コミュニティセンターは地域住民が学習やコミュニティ活動を自由に行うことができる住民相互の交流の拠点であると同時に、本市の地域防災計画において特定指定避難所に指定されている重要な施設です。

施設の管理運営は地域の自治会や青少年指導員等の各種団体の代表により組織された管理運営委員会が担っています。

表 3-3 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
コミュニティセンター公所会館	下鶴間504-1	—	571.71	RC	2	—	1989
コミュニティセンター中央林間会館	下鶴間4444-2	—	548.59	RC	2	—	1991
コミュニティセンター緑野会館	中央林間西4丁目27-3	—	529.69	RC	2	—	1987
コミュニティセンター南林間会館	南林間7丁目14-24	—	529.95	RC	2	—	1984
コミュニティセンター西鶴間会館	西鶴間2丁目4-20	—	520.70	RC	2	—	1982
コミュニティセンター鶴間会館	鶴間2丁目12-35	—	529.63	RC	2	—	1984
コミュニティセンター下鶴間会館	下鶴間2516-2	—	499.73	RC	2	—	1981
コミュニティセンター深見北会館	深見498-5	—	578.23	RC	2	—	1991
コミュニティセンター上草柳会館	上草柳5丁目3-11	—	364.31	RC	2	—	1978

※1 写真は一部の施設を代表して掲載しています。

コミュニティセンター深見中会館	深見台4丁目10-29	—	529.93	RC	2	—	1985
コミュニティセンター桜森会館	桜森3丁目5-21	—	529.98	RC	2	—	1984
コミュニティセンター草柳会館	下草柳552-1	—	526.26	RC	2	—	1993
コミュニティセンター深見南会館	深見台1丁目9-19	—	540.13	RC	2	—	1989
コミュニティセンター下草柳会館	中央6丁目5-19	—	530.04	RC	2	—	1983
コミュニティセンター柳橋会館	柳橋2丁目12-2	—	546.52	RC	2	—	1991
コミュニティセンター桜丘会館	上和田860-1	—	527.63	RC	2	—	1984
コミュニティセンター福田会館	代官1丁目22-3	—	529.84	RC	2	—	1987
コミュニティセンター上和田会館	上和田2700-18	—	529.98	RC	2	—	1985
コミュニティセンター下和田会館	下和田791-2	—	529.56	RC	2	—	1988
コミュニティセンター下福田会館	福田611-1	—	524.60	RC	2	—	1982

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-4 施設の劣化度評価一覧

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
コミュニティセンター公所会館	—	B	C	A	B	B
コミュニティセンター中央林間会館	—	B	C	A	A	A
コミュニティセンター緑野会館	—	A	A	A	A	A
コミュニティセンター南林間会館	—	C	C	A	B	B
コミュニティセンター西鶴間会館	—	A	C	A	A	A
コミュニティセンター鶴間会館	—	A	B	A	A	A
コミュニティセンター下鶴間会館	—	E	E	A	D	D
コミュニティセンター深見北会館	—	B	A	A	A	A
コミュニティセンター上草柳会館	—	A	A	A	A	A
コミュニティセンター深見中会館	—	A	D	A	A	A
コミュニティセンター桜森会館	—	A	B	A	A	A
コミュニティセンター草柳会館	—	A	B	A	A	A
コミュニティセンター深見南会館	—	A	C	A	A	A
コミュニティセンター下草柳会館	—	A	D	A	A	A
コミュニティセンター柳橋会館	—	C	C	A	B	B
コミュニティセンター桜丘会館	—	C	D	A	B	B
コミュニティセンター福田会館	—	C	B	A	B	B
コミュニティセンター上和田会館	—	D	D	A	B	B
コミュニティセンター下和田会館	—	B	C	A	B	B
コミュニティセンター下福田会館	—	B	D	A	B	B

3.3 産業活性課、健康福祉総務課、健康づくり推進課、高齢福祉課、障がい福祉課

1. 施設の概要



産業活性課・健康福祉総務課・健康づくり推進課・高齢福祉課・障がい福祉課がそれぞれで所管する福祉関係の施設をまとめて整理しています。対象となる施設の目的は勤労者の健康増進と文化の向上や、地域の休日及び夜間の応急医療機会を確保するとともに、疾病の予防に対応することなど多岐に渡っています。

表 3-5 施設概要一覧

所管課	施設名称	所在地	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
産業活性課	勤労福祉会館	鶴間1丁目32-12	1356.54	RC	3	1	1984
健康福祉総務課	保健福祉センター	鶴間1丁目31-7	7730.84	RC	6	1	1988
健康づくり推進課	地域医療センター	鶴間1丁目28-5	1397.88	RC	2	—	2007
高齢福祉課	まごころ地域福祉センター	柳橋2丁目11	1018.99	RC	2	1	2001
障がい福祉課	障害福祉センター松風園	西鶴間2丁目24-1	2012.79	RC	2	1	1979
	障害者自立支援センター	鶴間1丁目19-3	496.67	S	1	—	2004

2. 施設の劣化度評価

平成 28 年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を 5 段階で評価しています。

表 3-6 施設の劣化度評価一覧

施設名称	棟名称	評価				総合 評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
勤労福祉会館	—	D	E	E	E	E
保健福祉センター	—	A	C	A	A	A
地域医療センター	—	A	A	B	A	A
まごころ地域福祉センター	—	C	D	D	D	D
障害福祉センター松風園	—	A	E	E	E	E
障害者自立支援センター	—	A	A	A	A	A

3.4 みどり公園課

1. 施設の概要



みどり公園課では、引地台公園内に市民が一年を通して楽しめるよう整備した引地台温水プールや、本市における貴重な大規模緑地である泉の森内には大和の自然を守り、育てていくための拠点施設で展示ホールや多目的室、図書コーナーを備えた自然観察センター「しらかしの家」などの施設や、公園内の管理事務所を所管しています。

さらに近年、厚木飛行場の南部にスポーツとレクリエーションをテーマとした大和ゆとりの森公園の整備を進めています。

表 3-7 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
公園管理事務所	柳橋4丁目5000	—	420.79	RC	2	—	1980
引地台温水プール	柳橋4丁目5000	—	5958.59	RC	2	2	1990
自然観察センターしらかしのいえ	上草柳1728	—	864.00	W	2	—	1996
引地台公園立体駐車場	草柳3丁目5-1	—	3552.00	SRC	3	—	1991
慈緑庵	中央林間5丁目17-3	—	139.74	W	1	—	1994
グリーンアップセンター	下草柳552-1	—	944.00	RC	2	—	1993
大和ゆとりの森	福田4112 他	仲良しプラザ	1613.20	RC	2	1	2012
		管理作業所	124.74	S	1	1	2013
		スタンドサイドトイレ	82.43	RC	1	—	2014
		トイレ・休憩所	63.65	RC	1	—	2014
		休憩所(わんぱく広場)	20.71	S	1	—	2012
		管理人詰所	23.28	S	1	—	2012
		芝生グラウンド南側トイレ	64.52	RC	1	—	2007
		スポーツハウス	182.18	S	1	—	2015

※1 写真は一部の施設を代表して掲載しています。

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-8 施設の劣化度評価一覧

() 内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
公園管理事務所	—	B	E	E	E	E
引地台温水プール	—	B	D	A	B	B
自然観察センターしらかしのいえ	—	A	D	A	B	B
引地台公園立体駐車場	—	D	B	—	C	C
慈緑庵	—	B	C	—	B	B
グリーンアップセンター	—	A	B	A	A	A
大和ゆとりの森	仲良しプラザ	A	C	A	A	A
	管理作業所	A	A	—	(A)	
	スタンバイトイレ	A	A	—	(A)	
	トイレ・休憩所	A	A	—	(A)	
	休憩所(わんぱく広場)	A	A	—	(A)	
	管理人詰所	A	A	—	(A)	
	芝生グラウンド南側トイレ	A	A	—	(A)	
	スポーツハウス	A	A	—	(A)	

3.5 ほいく課

1. 施設の概要



ほいく課では、市立保育所4園と病児保育室ぽかぽかを所管しています。

緑野保育園をはじめとする4つの保育園は、当初7園あった市立保育園のうち3園が民営化されて残ったものです。

平成25年(2013年)には市立病院の敷地内に、病气中または回復期の子供を保護者が仕事で自宅保育が困難な場合に、預けることができる施設「病児保育室ぽかぽか」を整備するなど、新たな市民サービスを開始しています。

表 3-9 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
緑野保育園	中央林間西4丁目27-12	—	609.30	RC	1	—	1972
若葉保育園	鶴間1丁目25-3	—	752.73	RC	2	—	1973
草柳保育園	中央6丁目8-27	—	811.61	RC	2	—	1977
福田保育園	福田8丁目22-5	—	846.91	RC	2	—	1979
病児保育室ぽかぽか	深見西8丁目3-6	—	91.35	S	1	—	2013

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-10 施設の劣化度評価一覧

施設名称	棟名称	評価				総合 評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
緑野保育園	—	A	E	A	B	B
若葉保育園	—	C	D	A	B	B
草柳保育園	—	A	B	A	A	A
福田保育園	—	A	D	A	A	A
病児保育室ぽかぽか	—	A	A	A	A	A

3.6 こども・青少年課

1. 施設の概要



こども・青少年課では、青少年センターと児童館 2 館と、泉の森ふれあいキャンプ場、緑野青空子ども広場を所管しています。

青少年センターは昭和 46 年（1971 年）に神奈川県により建設され平成 8 年（1996 年）に市に移管された施設ですが青少年の健全育成を目的とし、体育室や音楽室、美術室、談話室ふれあいルームなどを備えています。児童館は、健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにするために市内 22 か所に建設された施設で、そのうち 20 館はコミュニティセンター内に併設されています。

泉の森ふれあいキャンプ場及び緑野青空子ども広場は、交流と遊びを通して社会性や人間性を育む場の提供を目的として設置された施設です。

表 3-11 設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築年度
					地上	地下	
青少年センター	中央1丁目5-14	—	1572.26	SRC	3	—	1971
子安児童館	上草柳9丁目11-20	—	175.16	S	1	—	1973
上和田東児童館	上和田2897	—	170.10	S	1	—	1973
泉の森ふれあいキャンプ場	上草柳1794	管理棟	124.23	W	1	—	1990
緑野青空子ども広場	中央林間1-7	トイレ	5.76	アルミパネル	1	—	1998

2. 施設の劣化度評価

平成 28 年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を 5 段階で評価しています。

表 3-12 施設の劣化度評価一覧

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
青少年センター	—	C	C	D	C	C
子安児童館	—	A	E	A	B	B
上和田東児童館	—	A	D	A	A	A
泉の森ふれあいキャンプ場	管理棟	A	D	—	B	B
緑野青空子ども広場	トイレ	A	A	—	A	A

3.7 文化振興課

1. 施設の概要



文化振興課では、文化財保管施設、郷土民家園、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館の4つの施設を所管しています。郷土民家園は市の指定文化財である古民家2棟（旧北島家と旧小川家）を平成5年（1993年）に移築復元したものです。

また、下鶴間ふるさと館は市指定文化財である旧小倉家の母屋と土蔵を平成16年（2004年）に復元した施設です。つる舞の里歴史資料館は本市の歴史資料の収集と保管を行うのと同時に市民に向けた展示を行うための施設として平成9年（1997年）に建設された施設です。なお、郷土民家園は指定管理者による運営管理を行っています。

表 3-13 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
文化財保管施設	鶴間1丁目3072-1	本棟	420.92	軽量 鉄骨	1	—	1981
		増築棟	247.08	軽量 鉄骨	2	—	1989
郷土民家園	上草柳1777	—	41.31	W	1	—	1993
つる舞の里歴史資料館	つきみ野7丁目3-2	—	262.85	W	1	—	1997
下鶴間ふるさと館	下鶴間2359-5	—	116.02	W	1	—	2004

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-14 施設の劣化度評価一覧

() 内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合 評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
文化財保管施設	本棟	A	E	—	D	C
	増築棟	A	D	—	(B)	
郷土民家園	—	A	B	A	A	A
つる舞の里歴史資料館	—	B	C	A	A	A
下鶴間ふるさと館	—	A	A	A	A	A

3.8 図書・学び交流課

1. 施設の概要



図書・学び交流課ではこれまで、旧図書館、旧生涯学習センターと学習センター 3 館を所管していました。図書館及び生涯学習センターの機能は、平成 28 年（2016 年）11 月に大和市文化創造拠点シリウスに移転し、旧図書館施設及び旧生涯学習センター施設は（仮称）市民交流センターとして整備を進めています。つきみ野学習センター、林間学習センター、及び桜丘学習センターは、社会教育や生涯学習を推進するための各地域の拠点として建設された施設です。

表 3-15 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
旧図書館	深見西1丁目2-17	—	4009.33	RC	3	1	1980
旧生涯学習センター	深見西1丁目3-17	本館	1502.06	RC	3	—	1963
		北館・ホール	3441.66	RC	3	—	1971
つきみ野学習センター	つきみ野5丁目3-5	—	2011.17	RC	3	1	1986
林間学習センター	林間2丁目6-18	—	1109.56	RC	3	—	1970
桜丘学習センター	福田1丁目30-1	—	1470.34	RC	3	—	1984

2. 施設の劣化度評価

平成 28 年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を 5 段階で評価しています。

表 3-16 施設の劣化度評価一覧

施設名称	棟名称	評価				総合 評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
旧図書館	—	A	A	A	A	A
旧生涯学習センター	本館	—	—	—	—	—
	北館・ホール(※2)	A	A	A	A	A
つきみ野学習センター	—	C	E	A	C	C
林間学習センター	—	B	C	A	A	A
桜丘学習センター	—	A	D	A	B	B

※1 写真は一部の施設を代表して掲載しています。

※2 生涯学習センター北館は平成 29 年度に改修工事を実施しています。

3.9 スポーツ課

1. 施設の概要



スポーツ課では、スポーツセンターと野球場 4 施設、庭球場 2 施設、スポーツ広場 5 施設を所管しています。これに加え大和ゆとりの森に、新たに庭球場 2 施設などを整備しています。

大和スポーツセンターは、体育館と陸上競技場、屋外プールを併設する総合スポーツ施設として整備されています。

また、大和スタジアムは、引地台公園内に観客スタンドを持つ大規模な野球場施設として整備されています。その他、市内各所に野球場や庭球場、スポーツ広場を整備しています。

表 3-17 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
大和スポーツセンター	上草柳1丁目1-1	体育会館	13593.93	RC	5	1	1985
		カフェテリア	81.00	S	1	—	2004
		陸上競技場	3287.41	RC	2	—	1989
大和スタジアム	柳橋4丁目5000-1	管理棟	231.34	RC	3	1	1996
つきみ野野球場	つきみ野5丁目6	倉庫等	19.08	軽量 鉄骨	1	—	1969
宮久保野球場	上和田宮久保1320-1	事務室	11.76	軽量 鉄骨	1	—	1982
下福田野球場	大和市福田89	事務室	44.00	軽量 鉄骨	1	—	1986
草柳庭球場	下草柳1157	管理棟等	69.39	軽量 鉄骨	1	—	1978
渋谷西庭球場	代官4丁目17-11	トイレ等	2.60	軽量 鉄骨	1	—	1979
桜森スポーツ広場	桜森1丁目97-1	トイレ等	15.27	軽量 鉄骨	1	—	1980
宮久保スポーツ広場	上和田2152-1	トイレ等	2.00	軽量 鉄骨	1	—	1982
南林間スポーツ広場	南林間9丁目3722	トイレ等	4.00	軽量 鉄骨	1	—	1984
下福田スポーツ広場	福田乙九ノ区310	トイレ等	20.81	軽量 鉄骨	1	—	2009
深見歴史の森スポーツ広場	下鶴間乙6号2747-1	トイレ等	9.51	軽量 鉄骨	1	—	2014

※1 写真は一部の施設を代表して掲載しています。

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-18 施設の劣化度評価一覧

() 内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
大和スポーツセンター	体育会館	A	C	A	A	B
	カフェテリア	A	A	A	(A)	
	陸上競技場	B	E	A	(B)	
大和スタジアム	管理棟	E	E	—	E	E
つきみ野野球場	倉庫等	A	E	—	D	D
宮久保野球場	事務室	A	D	—	B	B
下福田野球場	事務室等	A	C	—	A	A
草柳庭球場	管理棟	A	B	—	A	A
渋谷西庭球場	トイレ等	D	E	—	E	E
桜森スポーツ広場	トイレ等	A	A	—	A	A
宮久保スポーツ広場	トイレ等	A	E	—	C	C
南林間スポーツ広場	トイレ等	A	A	—	A	A
下福田スポーツ広場	トイレ等	A	A	—	A	A
深見歴史の森スポーツ広場	トイレ等	A	A	—	A	A

3.10 街づくり総務課

1. 施設の概要



街づくり総務課では、4つの中層住宅（緑野住宅、つきみ野住宅、やよい住宅1号棟、渋谷住宅）と、2つの高層住宅（緑野住宅、鶴間台住宅、やよい住宅2号棟）を所管しています。

これらの市営住宅は公営住宅法に基づき住宅に困窮する低所得者に廉価で賃借することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与するために建設されたものです。

表 3-19 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
緑野住宅(中層)	中央林間1丁目4280-1	1号棟	1437.50	PC	5	—	1973
		2号棟	1437.50	PC	5	—	1972
		3号棟	958.70	PC	5	—	1972
		集会所	260.00	S	2	—	1973
緑野住宅(高層)	中央林間1丁目2及び8	A棟	6397.83	RC	10	—	1996
		B棟	3524.33	RC	8	—	1998
		集会所	151.02	RC	1	—	1996
つきみ野住宅	つきみ野5丁目3	1号棟	1251.44	PC	5	—	1980
		2号棟	1256.86	PC	5	—	1980
		3号棟	2350.08	PC	4	—	1981
		4号棟	2207.42	PC	4	—	1982
		5号棟	1567.50	PC	3	—	1984
		集会場	100.87	S	1	—	1981
渋谷住宅	渋谷1丁目13	1号棟	1954.42	PC	5	—	1986
		2号棟	1317.40	PC	5	—	1988
		集会所	72.90	S	1	—	1987
鶴間台住宅	鶴間1丁目17-1	鶴間台住宅	6978.30	RC	8	—	2005
やよい住宅	中央5丁目494-2	1号棟	1663.24	RC	4	—	1990
		2号棟	4036.05	RC	9	—	1993
		集会所	114.39	S	1	—	1993

2. 施設の劣化度評価

平成 28 年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を 5 段階で評価しています。

表 3-20 施設の劣化度評価一覧

() 内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
緑野住宅(中層)	1号棟	A	A	A	A	A
	2号棟	A	A	A	A	
	3号棟	A	A	A	A	
	集会所	A	A	A	(A)	
緑野住宅(高層)	A棟	A	A	A	A	A
	B棟	A	B	A	A	
	集会所	A	A	A	(A)	
つきみ野住宅	1号棟	A	C	A	A	A
	2号棟	A	C	A	A	
	3号棟	A	C	A	A	
	4号棟	A	C	A	A	
	5号棟	B	D	A	B	
	集会場	A	C	A	(A)	
渋谷住宅	1号棟	A	A	A	A	A
	2号棟	A	A	A	A	
	集会所	A	A	A	(A)	
鶴間台住宅	鶴間台住宅	A	A	A	A	A
やよい住宅	1号棟	A	A	A	A	A
	2号棟	A	A	A	A	
	集会所	A	A	A	(A)	

3.11 警防課

1. 施設の概要



警防課では、消防本部と南北の分署・出張所と合わせて5つの消防庁舎と、消防分団車庫詰所等18つの施設を所管しています。

消防本部をはじめとする庁舎は、本市の消防防災拠点として昭和54年(1979年)以降に建設された施設です。また消防分団車庫詰所は、地域の消防活動を担う消防団の拠点として市内各所に整備されています。

表3-21 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
消防本部	深見西4丁目4-6	本棟	2678.74	RC	4	—	1979
		増築棟	508.27	RC	3	—	2000
		車庫・屋内訓練棟	332.96	S	2	—	1979
		訓練塔	815.44	RC	8	1	1988
		補助訓練塔	192.86	RC	3	—	1988
消防北分署	下鶴間1763	—	1532.52	RC	7	—	1999
消防南分署	上和田2771-12	—	1290.52	RC	3	—	1989
消防西出張所	上草柳1842-2	—	309.38	RC	2	—	1984
消防柳橋出張所	柳橋1丁目22-3	本棟	284.42	RC	2	—	1979
		増築棟	126.56	RC	2	—	2013
第1分団車庫詰所	下鶴間466-2	—	49.67	S	2	—	1982
第2分団車庫詰所	下鶴間2359	—	69.12	S	1	—	2003
第3分団1班車庫詰所	深見484-4	—	49.67	S	2	—	1981
第3分団2班車庫詰所	深見3021-2	—	74.35	S	2	—	2016
第3分団3班車庫詰所	深見3328-14	—	49.67	S	2	—	1983
第4分団車庫詰所	大和南1丁目7-14	—	65.04	S	2	—	2004
第5分団車庫詰所	中央林間1丁目4-9	—	83.09	S	2	—	1997
第6分団車庫詰所	南林間3丁目7-6	—	49.67	S	2	—	1986
第7分団車庫詰所	西鶴間4丁目2-31	—	73.80	S	2	—	2011
第8分団車庫詰所	上草柳197-5	—	49.67	S	2	—	1982

※1 写真は一部の施設を代表して掲載しています。

第9分団車庫詰所	中央6丁目2-23	—	73.80	S	2	—	2006
第10分団1班車庫詰所	上和田947-15	—	49.67	S	2	—	1981
第10分団2班車庫詰所	福田1丁目30-3	—	49.67	S	2	—	1983
第10分団3班車庫詰所	上和田1191-1	—	73.80	S	2	—	2008
第11分団1班車庫詰所	代官1丁目20	—	47.27	S	1	—	2005
第11分団2班車庫詰所	上和田2707-1	—	43.05	RC/S	2	—	1979
第12分団車庫詰所	福田54街区2-11	—	74.52	S	2	—	2007
消防団機械器具置場	鶴間1丁目3067-3	—	43.05	S	2	—	1979

2. 施設の劣化度評価

平成28年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を5段階で評価しています。

表 3-22 施設の劣化度評価一覧

() 内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
消防本部	本棟	C	E	A	C	C
	増築棟	C	E	A	(C)	
	車庫・屋内訓練棟	A	E	B	(C)	
	練棟搭	A	E	A	(B)	
	補助訓練搭	A	E	A	(B)	
消防北分署	—	A	E	D	C	C
消防南分署	—	C	E	A	C	C
消防西出張所	—	A	E	A	B	B
消防柳橋出張所	本棟	A	A	A	A	A
	増築棟	A	A	A	(A)	
第1分団車庫詰所	—	A	C	—	A	A
第2分団車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第3分団1班車庫詰所	—	A	E	—	B	B
第3分団2班車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第3分団3班車庫詰所	—	A	D	—	B	B
第4分団車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第5分団車庫詰所	—	A	B	—	A	A
第6分団車庫詰所	—	A	E	—	B	B
第7分団車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第8分団車庫詰所	—	A	E	—	C	C
第9分団車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第10分団1班車庫詰所	—	A	E	—	B	B
第10分団2班車庫詰所	—	A	D	—	B	B
第10分団3班車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第11分団1班車庫詰所	—	A	A	—	A	A
第11分団2班車庫詰所	—	E	E	—	E	E
第12分団車庫詰所	—	A	A	—	A	A
消防団機械器具置場	—	A	E	—	D	D

3.12 教育総務課

1. 施設の概要



教育総務課では、19校の小学校と9校の中学校を合わせた28校を所管しています。

現在の小中学校の校舎は耐震性の不足により建て替えた校舎を除き、その多くが建設から30～40年経過しており全体的な老朽化が進んでいます。

そのため、近年では大規模改修工事を軸に必要なに応じた小規模修繕を行いながら維持管理を行っています。

表 3-23 施設概要一覧(小学校)

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
北大和小学校	下鶴間685	校舎	6235.71	RC	3	—	1967
		屋内運動場	666.07	RC	1	—	1977
		放課後児童ホーム	80.87	軽量鉄骨	1	—	2000
林間小学校	林間1丁目5-18	校舎	5875.44	RC	3	—	1965
		屋内運動場・特別教室棟	1994.76	RC/S	2	—	2008
大和小学校	深見西8丁目7-1	校舎	5881.24	RC	3	—	1965
		屋内運動場・特別教室棟	2713.75	RC	2	—	2011
草柳小学校	中央3丁目6-1	校舎	5191.63	RC	3	—	1962
		屋内運動場	915.02	RC	2	—	2010
深見小学	深見台2丁目9-1	校舎	4822.36	RC	3	—	1966
		屋内運動場	918.11	RC	2	—	2010
桜丘小学校	上和田832	屋内運動場	913.40	S	2	—	2009
渋谷小学校	下和田929	校舎	4998.60	RC	3	—	1967
		屋内運動場・特別教室棟	1930.55	RC	3	—	2001
西鶴間小学校	西鶴間2丁目25-43	校舎	4600.46	RC	3	—	1966
		屋内運動場	690.37	S	2	—	1977
緑野小学校	中央林間西5丁目3-1	校舎	4501.95	RC	4	—	1970
		屋内運動場・特別教室棟	2083.00	RC	2	—	2010
		放課後児童ホーム	80.87	軽量鉄骨	1	—	1998
上和田小学校	上和田2695	校舎	5011.93	RC	4	—	1971
		屋内運動場	666.07	S	2	—	1977

※1 写真は一部の施設を代表して掲載しています。

柳橋小学校	柳橋1丁目17-1	校舎	6610.40	RC	4	—	1972
		屋内運動場	686.45	S	2	—	1977
南林間小学校	南林間9丁目3-2	校舎	5106.99	RC	4	—	1974
		屋内運動場	666.07	RC	1	—	1976
福田小学校	福田5丁目22-1	校舎	5392.84	RC	4	—	1974
		屋内運動場	666.07	S	2	—	1977
		放課後児童ホーム	80.87	軽量鉄骨	1	—	1999
大野原小学校	上草柳7丁目4-26	校舎	5652.74	RC	4	—	1975
		屋内運動場	666.07	S	2	—	1977
		放課後児童ホーム	121.64	軽量鉄骨	1	—	2005
下福田小学校	福田570	校舎	4977.68	RC	4	—	1977
		屋内運動場・特別教室棟	1426.68	RC	2	—	1977
大和東小学校	深見1805	校舎	3636.79	RC	4	—	1978
		屋内運動場・特別教室棟	1422.82	RC	2	—	1978
		放課後児童ホーム	100.18	軽量鉄骨	1	—	2012
文ヶ岡小学校	桜森3丁目16-31	校舎	3623.55	RC	2	—	2015
		屋内運動場・特別教室棟	1455.65	RC	2	—	1979
		放課後児童ホーム	82.56	軽量鉄骨	1	—	1999
中央林間小学校	下鶴間1450-29	校舎	4446.89	RC	4	—	1981
		屋内運動場・特別教室棟	1511.86	RC	2	—	1981
		放課後児童ホーム	84.31	軽量鉄骨	1	—	2004
引地台小学校	草柳3丁目1-2	校舎	3359.37	RC	3	—	1983
		屋内運動場・特別教室棟	1516.28	RC	2	—	1983
		放課後児童ホーム	84.18	軽量鉄骨	1	—	2008

表 3-24 施設概要一覧(中学校)

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築 年度
					地上	地下	
大和中学校	深見西7丁目5-1	校舎	6568.40	RC	3	—	1962
		講堂・屋内運動場	1023.69	RC	2	—	1978
光丘中学校	大和南2丁目11-1	校舎	12217.29	RC	4	—	2007
		屋内運動場	1569.20	RC	2	—	2007
		水泳プール・武道場	1464.63	S	2	—	1993
		部室棟	402.76	RC	2	—	2007
渋谷中学校	下和田49	校舎	4602.78	RC	5	—	2003
		武道場・特別教室棟	5708.52	RC	3	—	2003
		屋内運動場・特別教室棟	2067.12	RC	5	—	2003
つきみ野中学校	つきみ野3丁目5-1	校舎	5984.72	RC	4	—	1970
		屋内運動場・特別教室棟	2557.75	RC	3	—	2010
		プール・武道場	1286.74	RC	3	—	1992
鶴間中学校	下鶴間3016	校舎	5608.58	RC	4	—	1974
		屋内運動場	987.57	S	1	—	1976

引地台中学校	柳橋4-5050	校舎	6779.94	RC	4	—	1975
		屋内運動場	925.07	S	1	—	1977
上和田中学校	上和田1314-1	校舎	5600.78	RC	4	—	1979
		屋内運動場	1021.22	S	2	—	1979
南林間中学校	南林間9丁目3-1	校舎	6695.54	RC	4	—	1980
		屋内運動場	1023.14	S	1	—	1980
下福田中学校	福田1569-1	校舎	7196.20	RC	4	—	1983
		屋内運動場	1007.71	S	1	—	1983
		プール・武道場	1256.76	RC	2	—	1991

2. 施設の劣化度評価

平成 28 年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を 5 段階で評価しています。

表 3-25 施設の劣化度評価一覧（小学校）

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
北大和小学校	校舎	A	E	D	D	D
	屋内運動場	A	C	D	(C)	
	放課後児童ホーム	A	D	—	(B)	
林間小学校	校舎	D	E	C	D	D
	屋内運動場・特別教室棟	A	C	C	(B)	
大和小学校	校舎	C	E	C	D	C
	屋内運動場・特別教室棟	A	B	C	(B)	
草柳小学校	校舎	D	E	C	D	D
	屋内運動場	B	C	C	(C)	
深見小学校	校舎	A	D	E	D	C
	屋内運動場	A	B	E	(B)	
桜丘小学校	校舎	A	D	C	C	B
	屋内運動場	A	A	C	(A)	
渋谷小学校(※1)	校舎	(A)	(A)	(A)	(A)	(A)
	屋内運動場・特別教室棟	(A)	(A)	(A)	(A)	
西鶴間小学校	校舎	B	D	C	C	B
	屋内運動場	A	A	C	(B)	
緑野小学校	校舎	D	E	E	E	D
	屋内運動場・特別教室棟	B	A	E	(C)	
	放課後児童ホーム	A	A	—	(A)	
上和田小学校	校舎	D	E	D	E	D
	屋内運動場	C	D	D	(D)	
柳橋小学校	校舎	C	E	D	D	D
	屋内運動場	A	E	D	(D)	
南林間小学校	校舎	A	E	D	D	D
	屋内運動場	E	E	D	(E)	
福田小学校	校舎	C	C	C	C	C
	屋内運動場	B	C	C	(C)	
	放課後児童ホーム	A	C	—	(A)	

※1 平成 29 年度に大規模改修工事を実施しています。調査時は工事中のため、評価は反映していません。

大野原小学校	校舎	A	E	C	C	C
	屋内運動場	A	D	C	(C)	
	放課後児童ホーム	A	B	—	(A)	
下福田小学校	校舎	C	D	D	D	D
	屋内運動場・特別教室棟	C	E	D	(D)	
大和東小学校	校舎	B	C	D	C	C
	屋内運動場・特別教室棟	A	D	D	(C)	
	放課後児童ホーム	A	A	—	(A)	
文ヶ岡小学校	校舎	A	D	C	C	B
	屋内運動場・特別教室棟	A	B	C	(B)	
	放課後児童ホーム	A	A	—	(A)	
中央林間小学校	校舎	A	E	D	C	C
	屋内運動場・特別教室棟	A	D	D	(C)	
	放課後児童ホーム	A	D	—	(B)	
引地台小学校	校舎	B	A	C	B	B
	屋内運動場・特別教室棟	A	A	C	(A)	
	放課後児童ホーム	A	A	—	(A)	

表 3-26 施設の劣化度評価一覧（中学校）

（）内の評価は主たる棟を基準として対象外としています。

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
大和中学校	校舎	A	B	C	B	A
	講堂・屋内運動場	A	A	C	(A)	
光丘中学校	校舎	A	B	C	B	B
	屋内運動場	A	A	C	(B)	
	水泳プール・武道場	A	C	C	(B)	
	部室棟	A	A	—	(A)	
渋谷中学校	校舎	B	C	C	C	C
	武道場・特別教室棟	A	C	C	(B)	
	屋内運動場・特別教室棟	A	C	C	(C)	
つきみ野中学校	校舎	C	D	C	C	C
	屋内運動場・特別教室棟	A	E	C	(C)	
	プール・武道場	C	E	C	(D)	
鶴間中学校	校舎	B	C	C	C	C
	屋内運動場	A	C	C	(B)	
引地台中学校	校舎	C	E	D	E	E
	屋内運動場	B	E	D	(E)	
上和田中学校	校舎	A	C	D	C	C
	屋内運動場	A	C	D	(C)	
南林間中学校	校舎	D	E	C	E	E
	屋内運動場	B	C	D	(C)	
下福田中学校	校舎	A	C	D	C	C
	屋内運動場	A	C	D	(C)	
	プール・武道場	A	C	D	(C)	

3.13 保健給食課

1. 施設の概要



学校共同調理場は学校給食法に基づき、市内 28 校の小中学校のうち 20 校分の給食調理と配給を行うため、北・中・南部にそれぞれ設置されています。

また、残りの 8 校分については単独調理校として校内に整備された調理室でそれぞれの学校ごとに調理を行っています。

学校薬剤師検査室は、学校の衛生環境等について薬剤師が検査等を行う施設として設置されています。

表 3-27 施設概要一覧

施設名称	所在地	棟名称	延床面積 (㎡)	構造	階数		建築年度
					地上	地下	
北部学校給食共同調理場	深見西7丁目5-2	—	1322.21	S	2	—	1972
中部学校給食共同調理場	中央7丁目10-6	—	2046.69	RC	2	—	1975
南部学校給食共同調理場	福田7丁目33-5	—	1322.25	RC	2	—	1973
学校薬剤師検査室	中央1丁目501-1	—	100.19	S	1	—	2013

2. 施設の劣化度評価

平成 28 年度に実施した劣化度調査に基づき、施設の劣化度を 5 段階で評価しています。

表 3-28 施設の劣化度評価一覧

施設名称	棟名称	評価				総合評価
		安全性	機能性	遵法性	総合	
北部学校共同調理場	—	A	E	D	C	C
中部学校共同調理場	—	C	E	A	D	D
南部学校共同調理場	—	C	E	D	E	E
学校薬剤師検査室	—	A	A	A	A	A

第4章 大和市公共施設白書の統括

第1章 大和市公共施設白書について

1.1 白書策定の背景と目的	1
1.2 大和市公共施設等総合管理計画の概要	2
1.3 公共施設白書の対象	3
1.4 公共施設白書の構成	4

第2章 公共施設の全体状況

2.1 本市公共施設の概要	5
2.2 本市の耐震化状況	7
2.3 地区の概要	11
2.4 年代別の施設分布状況	14
2.5 地区別の施設規模の分布と施設数の推移	15

第3章 各施設の基本情報と劣化度評価

3.1 管財課	19
3.2 生活あんしん課	20
3.3 産業活性課、健康福祉総務課、健康づくり推進課、 高齢福祉課、障がい福祉課	22
3.4 みどり公園課	23
3.5 ほいく課	25
3.6 こども・青少年課	26
3.7 文化振興課	27
3.8 図書・学び交流課	28
3.9 スポーツ課	29
3.10 街づくり総務課	31
3.11 警防課	33
3.12 教育総務課	35
3.13 保健給食課	39

第4章 大和市公共施設白書の統括

4.1 劣化度評価結果の分析1	40
4.2 劣化度評価結果の分析2	42
4.3 分析結果からの課題	46

第4章 大和市公共施設白書の統括

4.1 劣化度評価結果の分析 1（評価視点と経過年数）

【1. 安全性 × 経過年数】

「安全性」は、耐震性能の観点と躯体の劣化状況の観点で評価をしています。

良好な状態を示す A 評価がある程度、年数が経過しても一定以上確保されていることから昭和 56 年（1981 年）の耐震基準の改正に合わせて昭和 61 年（1986 年）から順次耐震診断と耐震化工事を行い（耐震化の進捗状況 7～10 参照）、ほぼすべての建物の耐震化が完了していることが要因であると考えられます。

また一方で、状態の劣化を示す D、E 評価も経過年数に応じて増えているのは老朽化の進行による「躯体の劣化」の観点からの評価が大きく影響していると考えられます。（図 4-1）

【2. 機能性 × 経過年数】

次の「機能性」は、建具・内装等や給排水・空調・衛生設備、電気設備の劣化などの施設を利用する上での直接的な影響度の観点から評価をしています。

評価と経過年数との関係を見ると、D、E 評価は経過年数に応じて増えていますが、30 年目以降に急増し 50% を超える結果となっています。

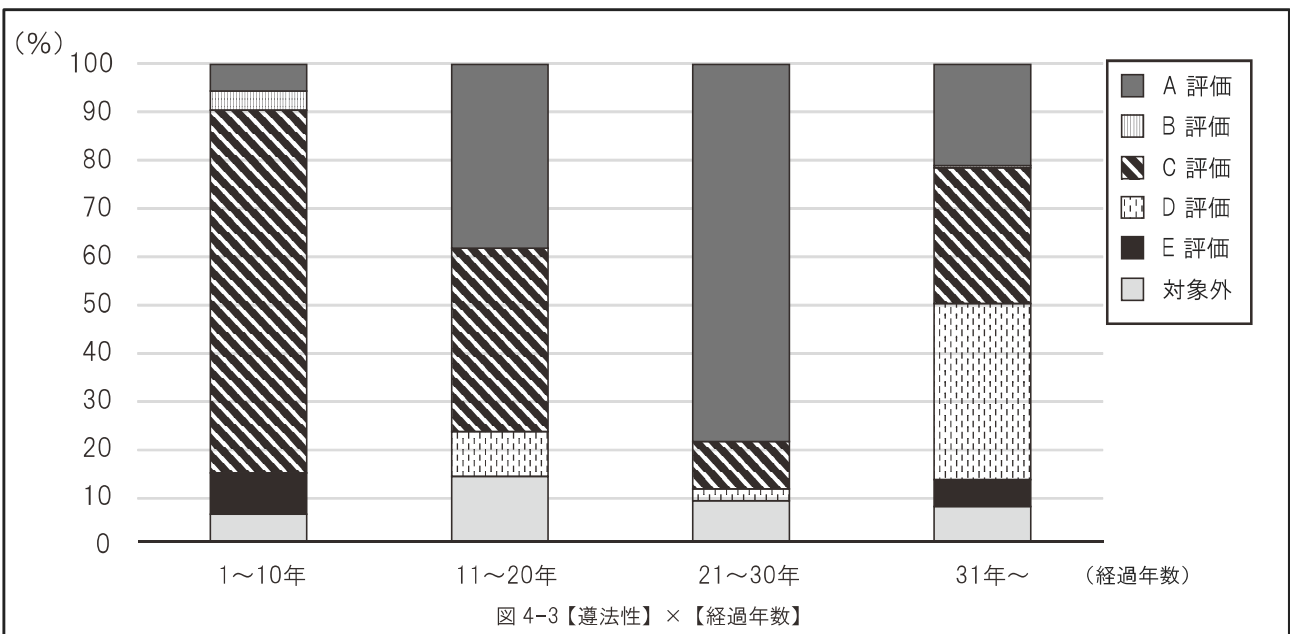
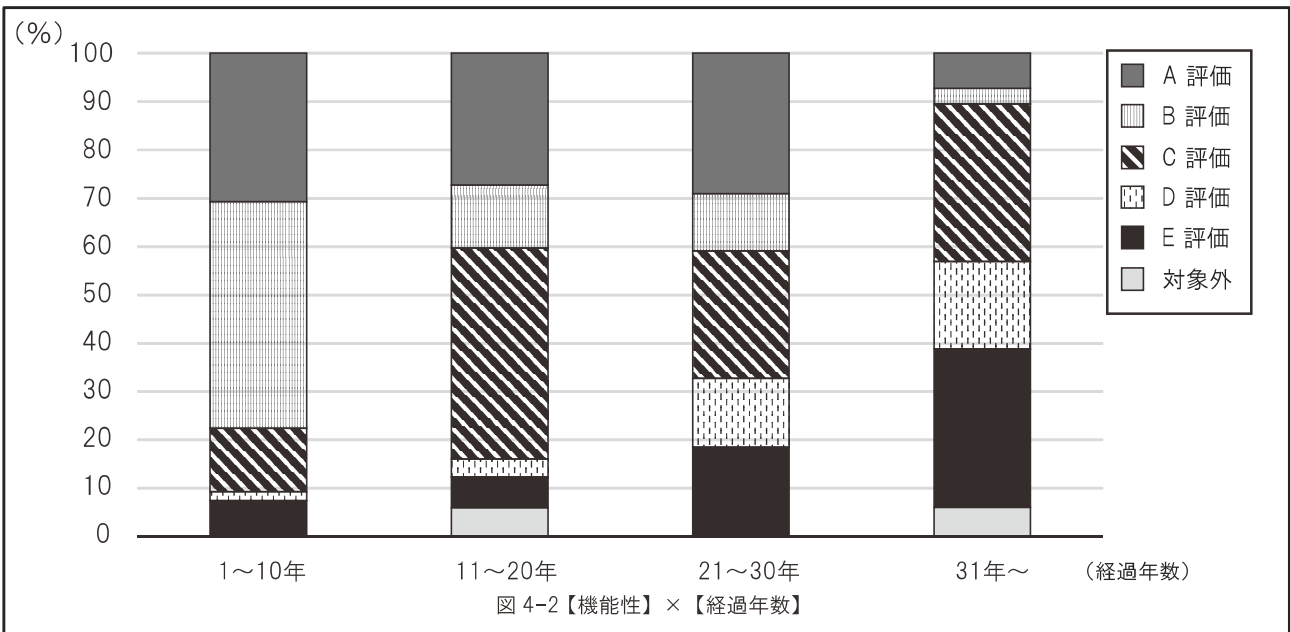
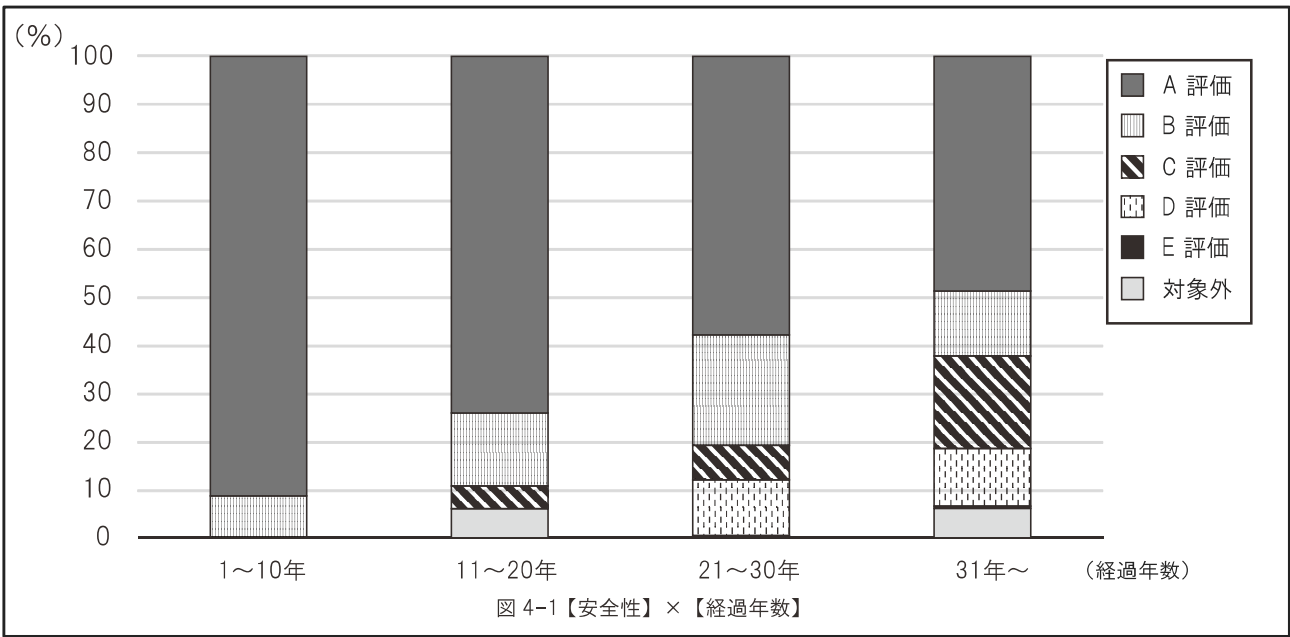
これは給排水・空調・衛生設備等の機器の耐用年数が 10 年から 15 年程度、電気設備についても同様であり、これらについてはある程度予防的な保全を行っていますが、耐用年数が 20 年から 30 年の間の建具や設備・電気の配管や配線、照明器具、等についての対応が不十分であることや、これまでの修繕で後回しになっていたものが蓄積した結果が影響していると考えられます。（図 4-2）

【3. 遵法性 × 経過年数】

最後の「遵法性」は建築基準法・消防法・電気事業法等の法令に基づく点検の結果により評価をしています。

市民文化施設や公営住宅などは適切な対応により良好な結果となっていますが反面、学校教育施設等の大規模な施設は軽微な不具合を含めると膨大な数になり、これまでの手法による修繕ではそのすべてに対応することは難しい状況です。

将来的な利用方針も踏まえながら優先的に行うべきことを整理し計画的に維持管理していくことが求められています。（図 4-3）



4.2 劣化度評価結果の分析 2（年代別の評価結果）

以下の表は施設の劣化度評価の結果を年代別に整理し図式化したものです。

この結果からは、老朽化の進行は経過年数に比例するという一般的なこと以外に、学校や一部の福祉施設などで老朽化の進行度合いが著しいものや、反対に緩やかなものがあることがわかります。

施設の老朽化の状況は経過年数に応じ、年代 1（2010 年～2016 年）に建設された施設は全施設が A 評価ですが、年代 2（2000 年代）及び年代 3（1990 年代）では A 評価の施設が最も大きい割合を占める一方で、A 評価以外の施設も存在します。

また、年代 4（1980 年代）では A 評価から E 評価まで施設の評価の差が大きくなり、年代 5（1970 年代）では、A 評価よりも B 評価から E 評価の施設の方が大きな割合を占めています。

年代 5（1970 年代）の施設は、建築後 40 年～50 年経過した建物であり、RC 造の耐用年数が 50 年であることから、実際の老朽化も進行しているものと考えられます。

建物の修繕に対して本市では大きく 5 つの手法をとり、老朽化に対応してきましたが（p100 参照）、事後の保全が多く、十分な対応ができていたとは言い難い状況です。

また、今後 10 年間に経過年数から大規模な修繕が必要となる施設が多く控えており、パッチワーク的な事後保全では、更に状況の悪化を招くものと考えられます。

表 4-1 年代 1（2010 年～2016 年）の評価

区分	地区名	施設名称	劣化度評価※												
			4.0	E	5.0	D	6.0	C	7.0	B	8.0	A	9.0	A	10
北のまち	つきみ野 鶴間	深見歴史の森スポーツ広場													▼
		第7分団車庫詰所													▼
中央のまち	大和	病児保育ほかほか													▼
		第3分団2班車庫詰所													▼
		学校薬剤師検査室													▼
南のまち	高座渋谷	大和ゆとりの森												▼	

表 4-2 年代 2（2000 年代）の評価

区分	地区名	施設名称	劣化度評価※												
			4.0	E	5.0	D	6.0	C	7.0	B	8.0	A	9.0	A	10
北のまち	鶴間	地域医療センター										★			
		障害者自立支援センター													★
		下鶴間ふるさと館													★
		鶴間台住宅												★	
		第2分団車庫詰所													★
中央のまち	大和	第4分団車庫詰所													★
		第9分団車庫詰所													★
		光丘中学校												★	
	桜ヶ丘	まごころ地域福祉センター			★										
南のまち	高座渋谷	下福田スポーツ広場													★
		第10分団3班車庫詰所													★
		第11分団1班車庫詰所													★
		第12分団車庫詰所													★
		渋谷中学校												★	

※ 劣化度評価は、8 点以上：A、7 点以上 8 点未満：B、6 点以上 7 点未満：C、5 点以上 6 点未満：D、5 点未満：E

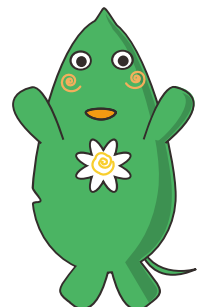
表 4-5 年代別の評価（1970 年代）

区分	地区名	施設名称	劣化度評価※												
			4.0	E	5.0	D	6.0	C	7.0	B	8.0	A	9.0	A	10
北のまち	つきみ野	つきみ野中学校						▲							
		緑野保育園													
	中央林間	緑野住宅(中層)													
		緑野小学校													
	南林間	林間学習センター													
		南林間小学校													
	鶴間	市役所本庁舎													
		第2分庁舎													
		障害福祉センター松風園													
		若葉保育園													
		消防団機械器具置場													
		鶴間中学校													
中央のまち	大和	コミュニティセンター上草柳会館													
		草柳保育園													
		青少年センター													
		子安児童館													
		消防本部													
		大野原小学校													
		大和東小学校													
		北部学校給食共同調理場													
		中部学校給食共同調理場													
		相模大塚	草柳庭球場												
	桜ヶ丘	桜ヶ丘連絡所													
		福田保育園													
		消防柳橋出張所													
		柳橋小学校													
		福田小学校													
南のまち	高座渋谷	上和田東児童館													
		渋谷西庭球場	▲												
		第11分団2班車庫詰所	▲												
		上和田小学校													
		下福田小学校													

表 4-6 年代別の評価（1960～1969）



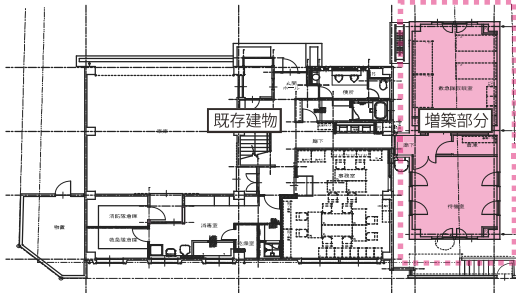



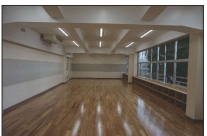


区分	地区名	施設名称	劣化度評価※												
			4.0	E	5.0	D	6.0	C	7.0	B	8.0	A	9.0	A	10
北のまち	つきみ野	つきみ野野球場													
	南林間	林間小学校													
		北大和小学校													
	鶴間	西鶴間小学校													
旧生涯学習センター															
中央のまち	大和	大和小学校													
		草柳小学校													
		深見小学校													
		大和中学校													
	桜ヶ丘	桜ヶ丘小学校													
南のまち	高座渋谷	渋谷小学校													

大和市では、建物カルテによって施設状態を把握し、継続的な事後保全を行ってききましたが、1970年（築後40年以上）以降に建てられた施設の維持管理方法に差が出てきているね。



※ 劣化度評価は、8点以上：A、7点以上8点未満：B、6点以上7点未満：C、5点以上6点未満：D、5点未満：E

表 4-7 本市の改修手法

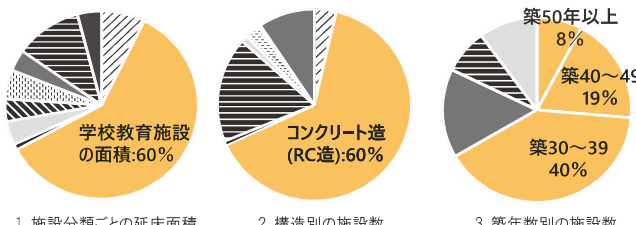
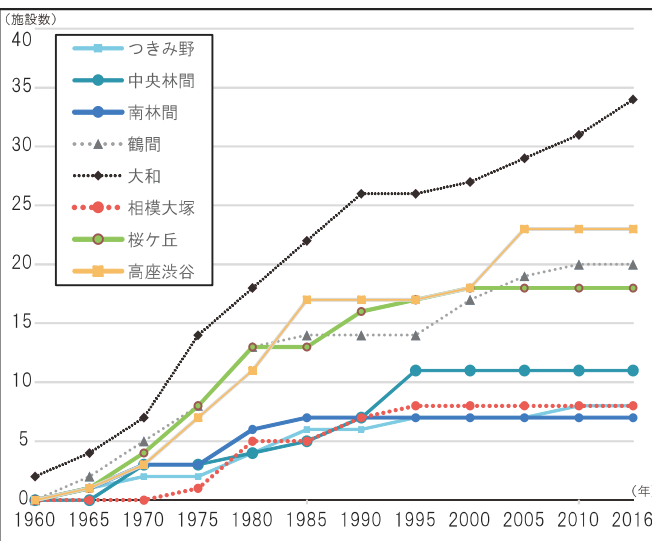
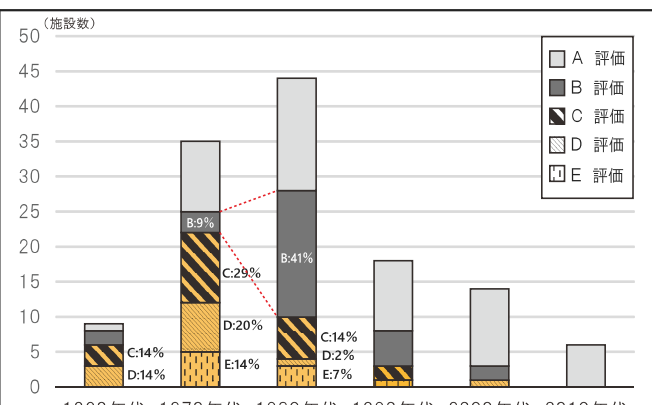
改修の種類		概要	参考・実施例		
改修1 中規模 改修工事 (部分改修)	工事内容	施設の不良個所に対し、部分改修を行うことを目的とする。 ・防水工事 ・内外装工事 ・機械設備・配管・ダクト等工事 ・電気工事			
	工事例	消防柳橋出張所増築改修工事 (H25) 文ヶ岡小学校増築改修工事 (H27)	林間小学校屋上防水改修	松風園配管設備改修	北部調理場受変電改修
改修2 増築・減築 改修工事	工事内容	既存の建築物の老朽化状況を見極め、更に建て加える、または一部解体をしながら、既存建築物の活用することを目的とする。 ・新規棟の増築工事 ・既存棟の改修工事 ・内壁の撤去、新設に伴う空間の活用 ・既存の建具などの再利用	 <p>改修例：消防柳橋出張所増築改修工事</p>		
	工事例	耐震診断の結果、補強が不可であったり、躯体の老朽化が顕著な建築物や、機能の更新が必要な施設に対し、全面的に建設し直すことを目的とする。	 光丘中学校建替え	 消防第7分団車庫詰所建替え	 薬剤師検査室建替え
改修3 建替え	工事内容	耐震診断の結果、補強が不可であったり、躯体の老朽化が顕著な建築物や、機能の更新が必要な施設に対し、全面的に建設し直すことを目的とする。			
	工事例	大和市旧地域医療センター改修工事 (H25)			
改修4 用途変更に伴う改修工事	工事内容	・地域医療センターから第2分庁舎(市役所庁舎施設)に用途変更 ・内壁の撤去、新設に伴う空間の活用 ・既存の建具などは再利用			
	工事例	旧図書館改修工事 (H29)	 <p>改修例：旧地域医療センター改修工事</p>		
改修5 大規模 改修工事	工事例	・大和中学校大規模改修工事 (H25) ・つきみ野中学校大規模改修工事 (H26) ・桜ヶ丘小学校大規模改修工事 (H27) ・渋谷小学校大規模改修工事 (H28)			
	工事内容	既存の建築物の躯体を残して、それ以外の部分を全体的に改修し既存建築物の利活用することを目的とする。 ・内外装の全面改修 ・建具の更新 ・給排水衛生・空調設備の全面更新 ・電気工事の全面更新	 大和中学校 (改修前1)	 大和中学校 (改修前2)	 渋谷小学校 (改修後1)
			 大和中学校 (改修後1)	 大和中学校 (改修後2)	 渋谷小学校 (改修後2)

4.3 分析結果からの課題

1. 分析結果からの本市の課題

第2章から4章まで分析してきた情報から、本市の課題を改めて整理します。

表 4-8 各章の整理・分析の概要

章	章名称	整理・分析ポイント	結果・課題
2.1	公共施設の構造と施設用途について	公共施設の構造別の割合や、施設用途別の施設数や延床面積の割合など基本情報の整理・分析。 1. 施設分類ごとの延床面積 2. 構造別の施設数 3. 築年数別の施設	 <p>1. 施設分類ごとの延床面積 2. 構造別の施設数 3. 築年数別の施設数</p>
2.2	公共施設の耐震化状況について	大和市耐震改修促進計画では、平成30年までを目標に公共施設の耐震化率100%を掲げており、現在、公園管理事務所、消防分団器具機械倉庫を除き耐震化が完了している。	
2.3	地区の特徴と施設分布について	<p>1.【北のまち】 林間都市開発と、つきみ野駅を中心とした土地区画整理事業により整備。1960年～1990年代に建設された施設が多い。</p> <p>2.【中央のまち】 軍都計画に基づく整備と、大和駅周辺の鉄道の連続立体交差事業によって整備。施設の約半数が配置されている。</p> <p>3.【南のまち】 昭和40年代から行われた土地区画整理事業によって整備。近年施設総数が増加傾向にある。</p>	 <p>(施設数) (年)</p>
3.1 ～ 3.13	個別施設の劣化度評価について	第3章を参照。	
4.1	施設全体の劣化度評価について	<p>安全性 : 全体の外壁の劣化や雨漏り等の発生件数から増加傾向にあり、劣化状況に合わせた維持管理を行うことが重要。</p> <p>機能性 : 機械・電気設備の事後保全が多く、特に築31年以上の施設の機能性の評価が低下傾向のため、予防保全を中心とした中大規模の計画づくりが重要。</p> <p>遵法性 : 軽微な不具合の指摘に対してすべて対応するのは困難であり、施設規模で指摘に対する対応レベルを設定することが重要。</p>	
4.2	年代別の劣化度評価について	劣化度評価の結果を年代別に分類し、評価と経過年数との関係性を分析。 <ul style="list-style-type: none"> ・築30年以上の施設数が多いが、劣化度評価からおおむね良好な状況を維持。 ・1970年代と1980年代の施設で、劣化度評価の結果が大きく変化。(C評価の増加) 	 <p>(施設数)</p> <p>1960年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000年代 2010年代</p>

課題1. 施設の経年劣化の進行と劣化状態の評価(2.1)

学校教育施設をはじめとした施設の老朽化に伴い、修繕にかかる費用は年々増加傾向にあります。施設修繕に充てられる予算にも限りがあり、今後一斉に大規模な修繕・改修の時期を迎えることから財政負担は一層厳しいものとなります。

これからは、施設白書で収集した劣化状況評価をもとに、不具合の早期発見だけでなく、中長期視点に立った計画的な修繕を検討していくことが必要になります。

課題2. まちの成り立ちによる施設の分布状況と修繕・改修時期の集中化(2.3)

本市の施設は、まちの成り立ちが影響し建設時期に偏りがあるため、経過年数をもとに一律に工事を行うと、工事も特定の地域内の施設に偏り、市民サービスの大幅な低下につながる可能性があります。

そのため、継続的な市民サービスの提供を十分に考慮したうえで修繕の計画をしていく必要があります。

課題3. 各施設分類ごとの検討事項(3.1～3.13)

行政系施設	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所本庁舎の機械・電気設備更新に向けた維持管理方針の検討。 ・消防本部・南分署の外壁や屋上防水等の経年劣化に対する修繕方法の検討。 ・消防分団等の構造の見直しと今後の維持管理方針の検討。
学校教育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修と小規模修繕による維持管理費の増加傾向に対する方針検討。 ・経年劣化に伴う小規模修繕の増加と未対応項目への今後の対応方針検討。 ・学校給食共同調理場や給食配膳室内の機械・電気設備更新に向けた維持管理方針の検討。
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等の機械・電気設備更新に向けた維持管理方針の検討。 ・児童館の経年劣化(構造体の損傷等)に対する修繕と維持管理方針の検討。
市民文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター等の機械・電気設備更新に向けた維持管理方針の検討 ・郷土民家園等の指定文化財に該当する施設の維持管理方針の検討。
社会教育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センターの経年劣化(構造体の損傷等)に対する修繕方法の検討。 ・学習センター同規模施設の機械・電気設備更新に向けた維持管理方針の検討。
スポーツ・レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大和スポーツセンターの経年劣化(内装材の劣化)に対する修繕方法の検討。 ・スポーツ広場等の小規模施設に対する維持管理方針の検討。
医療・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・今後機械・電気設備の更新時期を迎える施設の維持管理方針の検討。 ・老朽化が進行した保健福祉センター等の大規模改修の検討。
公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化に伴う小規模修繕の増加に対する維持管理方針。 ・大規模改修時の施設の利用についての検討。
公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・木造施設の経年劣化(外壁の腐食等)に伴う今後の維持管理方針の検討。 ・公園内の小規模施設に対する維持管理方針の検討。

課題4. 劣化度評価「安全性」の向上にむけた取り組み（4.1）

施設の「安全性」の評価では、外壁や屋上防水の不具合による雨漏りの事後保全を行っている施設が多いことが判明しています。今後施設の長寿命化を検討していく上で躯体の劣化の進行を遅らせることが重要な要素です。

そのため、施設全体での中長期的な計画を立てるだけでなく、日常点検から修繕を迅速に行う予防保全の仕組みを構築していく必要があります。

課題5. 劣化度評価「機能性」の向上にむけた取り組み（4.1）

施設の「機能性」の評価では、機械・電気設備等の老朽化や故障に伴う不具合が生じた場合に、事後保全としての改修を行う施設が多いことが判明しています。

さらに、複数施設を管理する組織と単独管理している所管組織とで機械・電気設備の更新方針に差が生まれていることが判明しています。

そのため、施設分類ごとに機械・電気設備の更新方針を定め、適切な予防保全を行うことにより、突発的な不具合をなくすと共に、劣化の進行を遅らせ、ライフサイクルコストの軽減を図る必要があります。

課題6. 劣化度評価「遵法性」の向上にむけた取り組み（4.1）

施設の「遵法性」の評価は、施設が受ける法令指摘事項に基づいて判断しています。

中・大規模施設では、法定点検の指摘事項が軽微なものも含め膨大な数となるため、全ての指摘に対応することが困難です。

一方で小規模施設は、単独で法定点検を行っているため、一括して委託を行っている中・大規模施設に対し効率が悪くなっています。

そのため、施設分類ごと一括して委託を行い、効率化を図るとともに、施設規模で指摘に対する対応レベルを設定する必要があります。

課題7. 施設の経年劣化と長寿命化の取り組み（4.2）

施設の劣化度評価を年代別に整理すると、築年数に劣化度評価の結果が概ね合致することが判明しています。

本市では、老朽化の状況に合わせてこれまで、様々な種類の工事を実施し、施設の保全に取り組んできましたが、今後さらに修繕・改修工事を必要とする施設が増えることが懸念されています。

そのため、築年数と劣化度評価結果から適切な規模の工事の実施時期を設定することにより、施設の長寿命化をするのと共に事業費負担の軽減を図る必要があります。

2. これからの動き（保全計画の策定にむけて）

本書では、施設の基本情報の整理と「安全性」や「機能性」、「遵法性」の大きく3つの視点から劣化状況の評価を実施し、整理・分析結果から、本市の公共施設が抱えている課題についてまとめてきました。

これらの結果を活用して策定する保全計画では、施設の維持管理方針をこれまでの「事後保全型」から「予防保全型」に転換し、合わせて市民ニーズ等に的確に対応するため、中長期的な観点から、計画的に保全を進めるための計画を策定することが必要であり、その取り組み基本方針は以下の通りです。

I 施設の点検・診断方法の見直し・活用と組織体制の構築

これまでは、平成13年度から使用してきた建物カルテにより、施設所管課が点検できるよう努めてきましたが、担当職員の能力等により、点検結果の精度に差異が生じてきました。

施設白書では、劣化状態を段階評価する新たなチェックリストを作成し、基準の統一を図ることにより、施設の不具合の早期発見に努めると共に、劣化状況を客観的に比較・分析していくことができるようになりました。

そのため保全計画では、これら施設の劣化度評価結果を用いて、修繕・改修工事の規模や時期を定めることで、効率的な工事管理を図ります。また、本市における施設点検の技術向上と効率化を目指した組織体制の構築を検討していきます。

II 施設の性能維持と安全性の確保

これまでは、設備機器等の老朽化や故障等による機能停止になった段階で、更新を行う事後保全型の修繕・改修工事を行ってきたため、老朽化が進行した施設における継続的な市民サービスを提供するための性能維持が難しくなっています。

そのため保全計画では、中長期的視点から、不具合の発生や機能停止になる前段階で適切な予防保全を盛り込むことにより、突発的な故障や不具合による施設の利用停止等をなくし、性能を維持すると共に、劣化の進行を遅らせ、施設の安全性を確保します。

III 保全に係る維持管理費の軽減と施設の長寿命化

これまでは、所管課ごとに事後保全の小規模な修繕工事を実施することが多々あり、さらに、複数年にわたり、同規模の工事を行う等、工事費や経費等の観点から、効率的ではない状況にあります。

そのため保全計画では、予防保全として工事の規模や実施時期を定め、小規模な修繕工事を総合的に行うことにより、維持管理費用の効率化を図ります。

また、施設の劣化度評価結果を基に改修優先順位を定め、中長期的な視点から、修繕・改修内容と時期等の調整を図ることにより、施設の長寿命化を図ります。